

要請番号(JL 034 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
モルディブ	職種 音楽 (コード 660)	☐ 新規 ☒ 交替 ☐ 3代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[英 語]) music		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 人的資源開発	
中・小分類: 文化		課題: 初等・中等教育	
プログラム名: 小中学校における情操教育の促進			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) ガーフダール環礁教育センター (現地公用語) Gaaf Dhaal Atoll Education Centre		
	3) 配属先所在地 首都(マレ)から 南 方向 400 Km ガーフダール環礁ティナドウ島 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(飛行機・船 で約 1.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ガーフダール環礁教育センターは1985年に開校した生徒数1126名、教師数62名の男女共学校である。1～10年生(日本の小学校1年生～高校1年生)の生徒が学んでいる。年間予算は約64万USDル。 外国の援助は入っていない。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教育省は生徒の音楽への関心を高めるため、1996年より順次5つの地方島中学校に対し、生徒によるプラスバンドを結成した。しかし、音楽に関する基礎知識や楽器の管理、演奏方法など音楽全般にわたって指導できる人材の確保は容易ではないことから、継続してJOCVの派遣要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・プラスバンド部の顧問として主にマーチングバンドの指導 ・バンドを率いて各種行事への参加 ・配属先学校のほかに、同島内にある小学校(2005年度に音楽クラス開設)での音楽授業・音楽基礎知識の指導 その他、隊員のアイディア次第で様々な音楽クラスを開設し音楽を普及していく可能性もある。配属先は、生徒がまず楽器を演奏できるようになることを望んでいる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トランペット、リコーダー、クラリネット、テナーホーン(アルトホルン)、テナートロンボーン、バストロンボーン、ユウフォニウム、チューバ、ベースドラム、スネアドラム、シンバル、音楽室		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・配属先スタッフ: 音楽の知識があり、指導できるスタッフは存在しない。 (同島内のもう1つの小学校には、音楽知識はまだ乏しいが、今後期待できるカウンターパートが存在する。) ・指導対象者レベル: 6～10年生(日本の小学校6年生～高校1年生)、経験は0～4年程度。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ ディベヒ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許(音楽) 理由: 主管官庁である教育省の条件 ・指導経験2年 理由:		
概地域	気候(熱帯モンスーン気候) 気温(27-32 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 131 - 06 - 0 - 04)		☐ JV⇔SV振替可		調査者名: 柴田 敦子	
国名	職種/指導科目 (コード 660)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
モロッコ	職種 音楽	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 18年度2 次隊	年 月 から
	(現地公用語[仏 語]) Musique			2 18年度3 次隊	
			3 19年度1 次隊		
大分類: 人的資源		分野: 主要産業開発支援		プログラム名: 文化・観光振興	
中・小分類: 文化		課題: 青少年の健全育成			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 (現地公用語) ministère de l'intérieur				
	2) 配属先名 (日本語) メクネス市音楽ダンス学校 (現地公用語) Conservatoire de municipale de musique et dance				
	3) 配属先所在地 首都(ラバト)から 東 方向 140 Km メクネス県メクネス市 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(電車 で約 3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は伝統音楽(アンダルシア音楽)、西洋音楽の演奏者・教育者を育成しており、ソルフェージュ科、ピアノ科、バイオリン科、リュート科、アンダルシア音楽科等の科がある。教師数は28名、生徒数は約800名(ピアノ科150名)。教師は文化省から出向している。年間予算は約70万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モロッコでは音楽が学校教育に組み込まれていないため、個人で教師を雇うことのできる一部の富裕層の家庭の子供を除いては、同校のような公立の音楽学校で学ぶことが音楽教育を受ける唯一の方法である。しかし、近年音楽教育に関心を持つ人々が増える一方、学校側では教師不足が問題となっており、また教師を確保しても技術的に不十分であったりするため、同校は隊員を要請し現在1代目の隊員が活動中である。隊員は1～7年生の30名程度の生徒(中・高生中心、レベルは低い)に対し、週1回・30分の個人指導を担当している。またピアノ指導の他にもソルフェージュの際のピアノ補助、教師への助言を行っている。「楽譜どおりに弾ければよし」とする考えが強く、表現力育成という視点では授業は行われていないため、今後生徒たちの個性を発揮できるような授業の提案が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・1～7年生の生徒に対するピアノ指導。 ・同僚と共に試験の際の採点を行う。 ・ソルフェージュの際のピアノ補助と、教師に対する授業内容への助言。 ・ソルフェージュを中心にした指導方法の紹介。 ・情操教育的視野に立った授業(リトミック、合唱等)の提案・企画。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 アップライトピアノ(PLEYEL PARIS、2005年購入 隊員レッスン用ピアノ) グランドピアノ 2台、アップライトピアノ 5台				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(女性)、秘書(女性 3名) ピアノ教師(7～25歳、初級から中級、ソナチネ程度)の生徒を指導)5名 男性:50代 1名、40代 2名、30代 1名 女性:40代 1名		6) 業務で使用する言語 ☒ フランス 語(レベル:) ☐ アラビア 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教員免許(音楽) 理由: 演奏者や教育者の育成が主となるため ・ 指導経験 理由: 幅広い年齢層の生徒が在籍するため				
概 況	気候(半乾燥気候) 気温(5～40 ℃位)		電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		
	電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし)		水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 146 - 05- 0 - 20)		☐ JV⇄SV振替可		
国名	職種/指導科目 (コード 660)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
シリア	職種 音楽	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月	
	指導科目			
	(現地公用語[語]) Music Teacher			
		派遣希望時期		
		JOCV		
		SV/短期等		
		1 18年度2次隊		
		2 18年度3次隊		
		3 19年度1次隊		
大分類:		分野: 社会サービスの拡充		
中・小分類:		課題: 基礎教育の拡充		
プログラム名: 学校教育の質的改善				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会労働省 (現地公用語) Ministry of Social Affairs and Labour			
	2) 配属先名 (日本語) UNRWAアレッポ地区学校 (現地公用語) United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees, Aleppo			
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 北東 方向 350 Km アレッポ 主要都市(アレッポ市内)までの交通手段及び所要時間(ミニバスで約 0.5時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シリアではパレスチナ難民のために様々な援助を行っており、その一つに国際機関であるUNRWA(国連パレスチナ救済事業機構)がある。配属省庁は社会労働省であり、その傘下に属するパレスチナ支援委員会はパレスチナ難民の教育、保健衛生、女性の支援活動などをUNRWAを通じて行っている。UNRWAが管理する小中学校では、女子・男子とに別れて運営されている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校における音楽授業はアラビア音楽を中心に実施されてきたが、平成12年からアレッポ・ハマ・ラタキア・ホムス・ダラアの各地に音楽隊員派遣が開始され、音楽授業が情操教育の一環と位置付け西洋音楽の導入を中心に活動を展開してきた。これまでの隊員活動により、音楽教育に対する認識も高まってきているのが成果として挙げられる。この成果を継承し、かつ現地音楽教員の育成という課題に対応するため、引き続き隊員による協力が必要とされている。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・前任者に引き続き、各小中学校児を対象に学校音楽を指導する。 ・現地教員と協力し、より効果的な音楽授業を確立させていく。 ・生徒のモチベーション向上のために必要に応じて音楽発表会を企画・開催する。 ・UNRWAに派遣されている他の音楽隊員と連携を取り、教員を対象にしたトレーニングに携わる。 ・音楽の重要性を内外にアピールするため、他の音楽隊員と連携し、巡回型の音楽コンサートを企画・運営する。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鍵盤ハーモニカ、キーボード			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ・同僚: 各学校の校長(大卒、40~50歳代) 指導対象者: パレスチナ人小学生、中学生(6歳~15歳)			
6) 業務で使用する言語 ☒ アラビア 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許(音楽) 理由: 学校音楽教育に携わるためには必要不可欠。 ・実務経験2年程度 理由: 現地人教員を指導する立場のため必要			
概況	気候(大陸性乾燥気候) 気温(0~40 ℃位) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし)	電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 146 - 06 - 0 - 14)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: シリア事務所	
国名	職種/指導科目 (コード 660)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
シリア	職種 音楽	☐ 新規 ☒ 交替 4 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 19年度1 次隊	年 月 から
	(現地公用語[アラビア 語]) Music Teacher			2 年度 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 社会サービスの拡充		プログラム名: 学校教育の質的改善	
中・小分類: 人的資源一般		課題: 基礎教育の拡充			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会労働省 (現地公用語) Ministry of Social Affairs and Labour				
	2) 配属先名 (日本語) UNRWAダラア地区学校 (現地公用語) United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees, Daraa				
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 南 方向 100 Km ダラア市内 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シリアではパレスチナ難民のために様々な援助を行っており、その一つに国際機関であるUNRWA(国連パレスチナ救済事業機構)がある。配属省庁は社会労働省であり、その傘下に属するパレスチナ支援委員会はパレスチナ難民の教育、保健衛生、女性の支援活動などをUNRWAを通じて行っている。JICAは2000年から10年計画で隊員を派遣し、学校教育の補完的部分のサポート及び現地人教員の質向上、人材育成を目標にしている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校における音楽授業はアラビア音楽を中心に実施されてきたが、2000年からアレppo・ハマ・ラタキア・ホムス・ダラアの各地に音楽隊員派遣が開始され、音楽授業を情操教育の一環と位置付け幅の広い音楽教育の導入を中心に活動を展開してきた。これまでの隊員活動により、音楽教育に対する認識も高まってきているのが成果として挙げられるが、この成果を安定させ、かつ現地音楽教員の育成という課題に対応するため、引き続き隊員による協力が必要とされている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 前任者に引き続き、各小中学校生徒(複数校)を対象に学校音楽を指導及び現地人教員の指導を行う。 ・ 配属先の音楽スーパーバイザーと連携を図りながら、現地教員とも協力し、より効果的な音楽授業を確立させていく。 ・ UNRWAに派遣されているほかの音楽隊員と連携を取り、音楽教員及びその他の教員を対象にした教員研修を企画・運営し、人材育成を行う。また、音楽に関連したイベント(JICAシンデレラコンクール・各校での音楽会等)の企画・運営に協力する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード、ピアノ、ソプラノリコーダー、タンバリン・トライアングル・ドルバッキン(アラブ太鼓)・鈴などの打楽器、隊員制作の音楽教材				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル UNRWA教育部長(50歳代男性) UNRWA音楽教育長(40歳代男性) 各学校の校長(40～50歳代の男女) 現地教師(30～40歳代の男女)				
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ アラビア 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許(音楽) 理由: 学校教育には必要不可欠な資格 ・ 実務経験2年程度 理由: 現地人教員を指導する立場のため必要				
概 地 況 城	気候(地中海性気候) 気温(0-40 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)				

要請番号(JL 146-06-0-15)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
シリア	職種 音楽 (コード 660)	☐ 新規 ☒ 交替 ☐ 4代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[アラビア 語]) Music Teacher		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 社会サービスの拡充	
中・小分類: 人的資源一般		課題: 基礎教育の拡充	
プログラム名: 学校教育の質的改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会労働省 (現地公用語) Ministry of Social Affairs and Labour		
	2) 配属先名 (日本語) UNRWAホムス地区学校 (現地公用語) United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees, Homs		
	3) 配属先所在地 首都(ダマスкас)から 北 方向 180 Km ホムス市内 主要都市(ダマスкас)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シリアではパレスチナ難民のために様々な援助を行っており、その一つに国際機関であるUNRWA(国連パレスチナ救済事業機構)がある。配属省庁は社会労働省であり、その傘下に属するパレスチナ支援委員会はパレスチナ難民の教育、保健衛生、女性の支援活動などをUNRWAを通じて行っている。JICAは2000年から10年計画で隊員を派遣し、学校教育の補完的部分のサポート及び現地人教員の質向上、人材育成を目標にしている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校における音楽授業はアラビア音楽を中心に実施されてきたが、2000年からアレppo・ハマ・ラタキア・ホムス・ダラアの各地に音楽隊員派遣が開始され、音楽授業を情操教育の一環と位置付け幅の広い音楽教育の導入を中心に活動を展開してきた。これまでの隊員活動により、音楽教育に対する認識も高まってきているのが成果として挙げられるが、この成果を安定させ、かつ現地音楽教員の育成という課題に対応するため、引き続き隊員による協力が必要とされている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・前任者に引き続き、各小中学校生徒(複数校)を対象に学校音楽を指導及び現地人教員の指導を行う。 ・配属先の音楽スーパーバイザーと連携を図りながら、現地教員とも協力し、より効果的な音楽授業を確立させていく。 ・UNRWAに派遣されているほかの音楽隊員と連携を取り、音楽教員及びその他の教員を対象にした教員研修を企画・運営し、人材育成を行う。また、音楽に関連したイベント(JICAシンデレラコンクール・各校での音楽会等)の企画・運営に協力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード、ピアノ、ソプラノリコーダー、タンバリン・トライアングル・ドルバッキン(アラブ太鼓)・鈴などの打楽器、隊員制作の音楽教材		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル UNRWA教育部長(50歳代男性) UNRWA音楽教育長(40歳代男性) 各学校の校長(40~50歳代の男女) 現地音楽教員(40歳代女性)、現地教師(30~40歳代の男女)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ アラビア 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許(音楽) 理由: 学校教育には必要不可欠な資格 ・実務経験2年程度 理由: 現地人教員を指導する立場のため必要		
概況	気候(地中海性気候) 気温(0-40℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 146 - 06 - 0 - 16)		☐ JV⇔SV振替可		調査者名: シリア事務所	
国名	職種/指導科目 (コード 660)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
シリア	職種 音楽	☐ 新規 ☒ 交替 4 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	☐ JOCV	☐ SV/短期等
	指導科目			1 18年度2 次隊	年 月 から
	(現地公用語[アラビア 語]) Music Teacher			2 18年度3 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 社会サービスの拡充		プログラム名: 学校教育の質的改善	
中・小分類: 人的資源一般		課題: 基礎教育の拡充			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会労働省 (現地公用語) Ministry of Social Affairs and Labour				
	2) 配属先名 (日本語) UNRWAラタキア地区学校 (現地公用語) United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees. Lattakia				
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 北西 方向 350 Km ラタキア市内 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シリアではパレスチナ難民のために様々な援助を行っており、その一つに国際機関であるUNRWA(国連パレスチナ救済事業機構)がある。配属省庁は社会労働省であり、その傘下に属するパレスチナ支援委員会はパレスチナ難民の教育、保健衛生、女性の支援活動などをUNRWAを通じて行っている。JICAは2000年から10年計画で隊員を派遣し、学校教育の補完的部分のサポート及び現地人教員の質向上、人材育成を目標にしている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校における音楽授業はアラビア音楽を中心に実施されてきたが、2000年からアレッポ・ハマ・ラタキア・ホムス・ダラアの各地に音楽隊員派遣が開始され、音楽授業を情操教育の一環と位置付け幅の広い音楽教育の導入を中心に活動を展開してきた。これまでの隊員活動により、音楽教育に対する認識も高まってきているのが成果として挙げられるが、この成果を安定させ、かつ現地音楽教員の育成という課題に対応するため、引き続き隊員による協力が必要とされている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 前任者に引き続き、各小中学校生徒(複数校)を対象に学校音楽を指導及び現地人教員の指導を行う。 ・ 配属先の音楽スーパーバイザーと連携を図りながら、現地教員とも協力し、より効果的な音楽授業を確立させていく。 ・ UNRWAに派遣されているほかの音楽隊員と連携を取り、音楽教員及びその他の教員を対象にした教員研修を企画・運営し、人材育成を行う。また、音楽に関連したイベント(JICAシンデレラコンクール・各校での音楽会等)の企画・運営に協力する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード、ピアノ、ソプラノリコーダー、タンバリン・トライアングル・ドルバッキン(アラブ太鼓)・鈴などの打楽器、隊員制作の音楽教材				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル UNRWA教育部長(50歳代男性) UNRWA音楽教育長(40歳代男性) 各学校の校長(40～50歳代の男女) 現地教師(30～40歳代の男女)				
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ アラビア 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許(音楽) 理由: 学校教育には必要不可欠な資格 ・ 実務経験2年程度 理由: 現地人教員を指導する立場のため必要				
概 地 況 概	気候(地中海性気候) 気温(0-40 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)				

要請番号(JL 149 - 06 - 0 - 11)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
チュニジア	職種 音楽 (コード 660)	☐ 新規 ☒ 交替 ☐ 3代目	派遣希望時期
	指導科目		☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[仏 語]) Professeur de Piano		1 19年度1次隊 2 18年度3次隊 3 年度次隊
大分類: 人的資源		分野: 地域間格差の是正と社会開発・人的	
中・小分類: 教育		課題: 地方の青少年活動の活性化	
プログラム名: 教育支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 文化遺産省 (現地公用語) Ministère de la culture et de la sauvegarde du patrimoine		
	2) 配属先名 (日本語) マハディア音楽ダンス学校 (現地公用語) Ecole Regionale de Musique et Dance de Mahadia		
	3) 配属先所在地 首都(チュニス)から 南東 方向 210 Km マハディア県マハディア市 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.0時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1994年に設立された文化遺産省管轄の公立学校。アラブ楽器の伝統音楽を中心に青少年の情操教育を行っている。リュート・カヌーン等のアラブ楽器の実技授業、楽典、アラブ的ソルフェージュ等の理論授業、プレパトワール(準備クラス)というアラブ的リトミッククラスに2003年から隊員によるピアノ授業が開始された。音楽コースの生徒は5~23才までの約200名。生徒は年会費35DT(約3千円)を支払う。JOCV2名(音楽・バレエ)が活動中。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 青少年の健全な育成と情操教育を実施している課外活動的な学校である。近年は西洋音楽に対する関心が高まる中で生徒数も毎年増加している。しかしながら、専門性のあるピアノ実技指導を行える講師がおらず、隊員が補う形となった。現在ピアノコースの生徒は46名、週6日、1日平均4時間、1人30分の個人レッスンを行っている。当地での楽譜調達には難しく、唯一学校保有の「メトドロズ」及び、隊員持参の楽譜等のコピーを利用し指導を行っている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1レッスン1人30分週1回。楽器所持率は約80%(電子キーボード)のため、クラスでは、集中した実践的な指導及び、忍耐強さが求められる。生徒は、一年間理論の授業を受け専門の楽器を学ぶため、楽譜は理解できる。大半は初級者であるが、先代隊員の活躍もあり、中級者が育ちつつある。年に1回の進級試験に向けてのクラシック音楽の指導が主であるが、ジャズやポピュラー等幅広い分野での指導力も必要とする。現在同校にて障害児を対象としてリトミッククラスを新設・試行中であり、将来障害児に対するピアノ指導の可能性も考えられる。学年末発表会等では、他楽器との伴奏・コンサート企画等を行う積極性・行動力・初見力(ソナチネ程度)・コミュニケーション能力が求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 アップライトピアノ(ロシア製)4台		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽理論指導員: 4名 カヌーン指導員: 1名・リュート指導員: 1名 バイオリン指導員: 2名 8~17才までの男女約50名、初級(初心者)~中級程度		
	6) 業務で使用する言語 ☒ フランス 語 (レベル:) ☐ アラビア 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・音大卒(ピアノ専攻) 理由: ・指導経験3年以上 理由: 指導するに十分な知識、経験を必要とする。		
	気候(地中海性気候) 気温(5~45 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 251 - 05 - 1 - 02)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
モザンビーク	職種 音楽 (コード 660)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ JOCV
	(現地公用語[ポルトガル 語]) Musica		☐ SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 教育	
中・小分類: 文化		課題: 現職教員の教授能力の改善	
プログラム名: 初等教育へのアクセス・質の向上			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio de Educação e Cultura		
	2) 配属先名 (日本語) マトーラ初等教員養成学校 (現地公用語) Instituto do Magisterio Primario de Matola		
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から 西 方向 15 Km マプト州マトーラ 主要都市(マプト)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 前期中等教育修了者(10学年)を対象者に、小学校教諭を養成する学校である。2年間の課程を全寮制、授業料無料というシステムで運営する。教員は約40名、キューバ人専門家5名、英国ボランティア1名が協力する。施設は、2001年5月開校。2003年度の予算は、約8.3万ドル。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 政府は、教育の機会拡大、質の向上を優先課題として学校建設や教員養成に力を入れているが、初等教員不足は依然続いている。当校は、マプト州で最大の初等教員養成校として期待されており、音楽科、芸術科、英語科、体育科を中心に養成している。音楽科は、前任者が平成16年7月に派遣され、キューバ人専門家、モザンビーク人教師と協力して指導している。同隊員が指導している鍵盤楽器(電子ピアノ)の指導及び合唱指導を継続して、音楽教育の充実を図り、現場に役立つ音楽教員養成に協力できる隊員の要請があがった。		
	2) 期待される具体的業務内容 音楽教育コース全般(音楽理論、楽器指導、歌唱、合唱指導、教授法など)について助言するとともに、生徒に対し楽器や歌唱、合唱指導を実践し、現場で実践できる教員養成に協力する。 (1) 音楽教育コースのカリキュラムや指導内容などを検討し、環境や生徒の能力に即したコース改善を提言する。 (2) 鍵盤楽器(電子ピアノ)を使いこなせるよう指導する。 (3) 生徒の教育実習に同行したり、論文作成に協力すると共に他の特別活動に参加する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 音楽室、電子ピアノ、エレクトーン、ドラム、打楽器など		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚4名(男女各2名、年齢20~40才代) 指導対象者: 学生(16~20才、ほとんどが初心者)		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ ポルトガル 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(教育学部) 理由: 教員養成学校の講師として活動するため ・ 実務経験 1 年 理由:		
概 況	気候(亜熱帯性気候) 気温(15-35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 285 - 05 - 1 - 03)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目 (コード 660)	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
ジンバブエ	職種 音楽	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	指導科目		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
	(現地公用語[英 語]) music		年 月 から
大分類: 人的資源		分野: 所得向上に結びつく産業振興のための条件整	
中・小分類: 文化		課題: 人材開発、特に職業訓練に対する支援	
プログラム名: 人材育成			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 (現地公用語) Ministry of Higher and Tertiary Education		
	2) 配属先名 (日本語) メリーマウントTRSカレッジ (現地公用語) Merymount Teachers College		
	3) 配属先所在地 首都(ハラレ)から 南西 方向 263 Km ムタレ 主要都市(ハラレ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国内の小学校教員を主に養成することを目的としたティーチャーズカレッジである。カリキュラムは、Zimbabwe Integrated National Teacher Education Course (ZINTEC) プログラムの3年制Diplomaコースに準拠しており、5ターム(約1年半)の教育実習も含まれる。年間予算はUS\$2,500,000 (US\$1=ZW\$10,000で計算)		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の初等、中高等教育における情操教育分野への取り組みは音楽を含め充分には確立されておらず、音楽授業自体を行っていない学校も多数存在している。同校では、過去に音楽授業を受けたことがない学生も含めて小学校で音楽授業を行う人材を育成しているが、現地人講師は現地の歌やアフリカ伝統楽器(マリンバ、ムビラ、ンゴマ)についての知識や技術はあるが、西洋音楽や外来楽器(キーボード、オルガン、ギター)に関して知識(楽典、西洋音楽史)や技術が乏しいため、ティーチャーズカレッジでの授業内容の充実を目的に協力隊員の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・学生に対して器楽、声楽の講義や実技指導(Practice)、課外活動での指導を行う。 ・講義において現地人講師は現地の歌やアフリカ伝統楽器に関しては長けているため、隊員はそれ以外の西洋音楽に関する理論や歴史、実技指導ではキーボード、オルガンなどを担当する(ギターの指導もできるとなおよい)。 ・講義で利用できる楽器数が学生数に充足していないため、講義内容の工夫も求められる。また、現地人講師に対して、資質向上を目的に同様の支援も行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード: 2台、ギター: 7個、オルガン: 1台(修理が必要)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カレッジの学生(高校卒業程度) 同僚講師(2名、30代、60代)		
		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 理由: 配属先が提示する条件 ・指導経験 3 年程度 理由: 配属先が提示する条件 ・教諭免許(音楽) 理由: 教員養成校での活動であるため		
概 況	気候(内陸性気候) 気温(5-35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 285 - 05- 1 - 19)		☐ JV⇄SV振替可		派遣希望時期	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	JOCV	SV/短期等
ジンバブエ	職種 音楽 (コード 660)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	1 18 年度 2 次隊	年 月 から
	指導科目			2 18 年度 3 次隊	
	(現地公用語[英 語]) music			3 19 年度 1 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 所得向上に結びつく産業振興のための条件整備		プログラム名: 人材育成	
中・小分類: 文化		課題: 人材開発、特に職業訓練校に対する支援			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 (現地公用語) Ministry of Higher and Tertiary Education				
	2) 配属先名 (日本語) ユナイテッドカレッジ (現地公用語) United College of Education				
	3) 配属先所在地 首都(ハラレ)から 南西 方向 440 Km ブラワヨ 主要都市(ブラワヨ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 初等教育、幼児教育、障害児教育に携わる人材の育成を目的とした教員養成学校。学生数は全課程で約500名。音楽担当の講師は4名。年間予算は約US\$100,000(2005年11月1日現在のレート:US\$1=Z\$60,000で計算)。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の初等、中高等教育における音楽分野への取り組みは十分に確立されておらず、音楽授業自体を行っていない学校も多数存在している。同校の教員養成課程では音楽を含め、小学生、幼児、障害児に授業を行なう人材を育成しているが、過去に体系化した音楽授業を受けたことがない学生も含まれており、また現地人講師は現地の歌や踊り、伝統楽器(マリンバ、ムビラ)についての知識や技術はあるが、西洋音楽や外来楽器(ピアノ、ギター)に関して知識や技術が乏しいため、授業内容の充実を目的にJOCVの要請に至った。また外国人を受け入れることによる異文化交流や技術交流をとおりし学生や講師の活性化を図ることも意図されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 主に以下の講義や実習を担当するが、実際に指導する科目は隊員と配属先で協議し決定される。 ・学生に対して器楽、声楽の講義や実技指導(Practice)、課外活動での個別指導を行う。 ・実技指導では主にピアノを担当する。(ギターの指導もできるとなおよい。) ・現地人講師に対して、資質向上を目的に同様の支援を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ピアノ:10台、マリンバ(木琴):10台、ムビラ(サムピアノ):10台、クラシックギター:8台				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽講師(4名、30~50歳代) カレッジの学生		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 配属先が提示する条件 ・ 教諭免許(音楽) 理由: カレッジでの講義を担当するため必要 ・ 指導経験3年程度 理由: カレッジでの講義を担当するため必要				
概 地 況 概	気候(内陸性気候) 気温(5-35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)				

要請番号 (JL 285 - 06 - 0 - 01)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: 渡辺 和弘		
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ジンバブエ	職種 音楽 (コード 660)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	☐ JOCV	☐ SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語])			2	18年度3次隊	
	music			3	19年度1次隊	
大分類: 人的資源		分野: 産業振興のための条件整備		プログラム名: 人材育成		
中・小分類: 文化		課題: 人材開発、特に職業訓練に対する支援				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 (現地公用語) Ministry of Education, Sport and Culture					
	2) 配属先名 (日本語) ローワーグエロ小学校 (現地公用語) Lower Gwelo Adventist Primary School					
	3) 配属先所在地 首都(ハラレ)から 南西 方向 300 Km ローワーグエロ 主要都市(ゲエル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 生徒数約800人、教諭数23人(校長、副校長を含む)の教会系の小学校で、敷地内に中等学校もある。小学校、中等学校、各1クラスずつ視覚障害児の特殊クラスが設けられている。2005年度の年間予算は約US\$1,300(US\$=Z\$65,000で計算:2005年12月現在)					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の初等、中等教育における音楽分野への取り組みは十分に確立されておらず、音楽授業自体を行っていない学校も多数存在している。同校は音楽授業の重要性は認識しているが、授業内容はクラス担任教諭によってまちまちであり、授業内容の充実化を主な目的にJOCV隊員の要請に至った。また中等学校の音楽授業並びに視覚障害児への音楽教育に関する支援も求められる。 中等学校配属のJOCV隊員(音楽)が視覚障害児への音楽教育及び周辺中等学校の音楽授業の支援を行なった。また、空き時間を利用し、小学校の6年生と7年生の課外授業(ピアノクラブ)の指導、1年生～5年生のクラス担任教諭が行う音楽授業へのアドバイス、1年生～3年生で構成されるパーカッションクラブの指導を実施した経緯がある。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・小学生に対する音楽理論(五線譜、トニックソルファ記譜法など)の授業 ・クラス担任教諭が行う音楽授業へのアドバイス ・低学年(1年生～3年生)で構成されるパーカッション(打楽器)バンドの指導 ・課外授業(ピアノクラブなど)での指導 ・視覚障害児特殊学級での音楽教育に関する支援 ・周辺中等学校における音楽授業及び音楽クラブへの支援					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ピアノ:30台、縦笛:40個、タンバリン:4個、トライアングル:2個、木琴:2台、鉄琴:1台、カスタネット:3個、マラカス:1個、鈴:2個					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 小学生(1年生～7年生) クラス担任教諭:23名 中高校生(1年生～4年生) 視覚障害児(2～8名)					
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・教諭免許 (音楽) 理由: 配属先が提示する条件 ・指導経験 2 年程度 理由: 配属先が提示する条件					
概 地 況 域	気候(内陸性気候) 気温(5-35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)					

要請番号 (JL 364 - 05 - 1 - 21)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種 / 指導科目 (コード 660)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
パラグアイ	職種 音楽	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年
	指導科目 (現地公用語[西 語])		○ 1年
	Música		○ ヶ月
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1 18年度2次隊	
		2 18年度3次隊	
		3 19年度1次隊	
大分類: 人的資源		分野: 貧困層への社会サービス充実と収入の維持向上	
中・小分類: 文化		課題: 教員養成及び現職教員の再教育強化	
プログラム名: 教員養成・教育インフラ整備、NGOとの連携を通じた初等中等教育の拡充支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) コンセプション市役所 (現地公用語) Municipalidad de Concepción		
	2) 配属先名 (日本語) 市立音楽学校 (現地公用語) Escuela Municipal de Música de Concepción		
	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン)から 北 方向 417 Km コンセプション県コンセプション市 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) コンセプション市立音楽学校は、音楽奏者の質的向上と地域への音楽教育の定着を目的として2004年6月に創立された市立の音楽学校で、吹奏楽、バイオリン、ギター、アルパ、楽典の4課程を擁している。教師は各課程1名で、生徒数は合計で約120名である。固有の施設は所有しておらず、劇場等の様々な市の施設を利用しながら活動を実施している。市からの予算は一部の教師に対する人件費のみで、運営費やその他の人件費は生徒からの月謝や登録料で賄われている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校のバイオリン課程では、現在1名の教師が「鈴木メソッド」を使用しながら基本音階の練習や、簡単な曲の演奏を指導しているが、同教師はバイオリンの専門的な教育を受けておらず、手探りの状態で指導を実施している現状にある。生徒の多くは初心者であり、現在のところ同教師が単独で指導できる状態にあるものの、生徒の演奏レベルの向上に伴い、経験豊富な指導者の不在が危惧されている。同校の生徒に対してバイオリンの演奏を指導し、生徒の演奏技術を向上させると共に、同校のバイオリン教師のレベルアップを図り、当地における音楽教育の定着に寄与できる人材が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 現在、初級クラスが2クラス、中級クラスが1クラス設定されており、各クラスの人数は15名から20名となっている。授業は月曜日から金曜日までクラス毎に1日1時間程度実施されている。 ①バイオリン課程の生徒に対し、同僚教師と協力しながら基礎的なバイオリンの演奏について指導を行う。 ②初級クラスは鈴木メソッドに基づいて基本的な音階練習や簡単な曲(ト長調)が指導されており、これを支援する。 ③中級クラスはパッサ「メヌエット」、ゴセック「ガボット」等の2部合奏が指導されており、更なるレベルアップを図る。 ④バイオリンの様々な指導方法を同僚教師に紹介し、指導者のレベルアップを図る。 ⑤今後、チェロとコントラバスの購入が計画されており、可能な範囲でこれらの弦楽器の指導を実施する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 バイオリン15台		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・バイオリン教師(男、35歳、バイオリン教師歴2年、サクソフォン教師歴9年) ・生徒45名(5歳～60歳)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 指導経験 理由: 実践に基づいた指導が求められているため		
概況	気候(亜熱帯) 気温(0-40 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 001 - 06 - 0 - 07)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
バングラデ シュ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ JOCV
	(現地公用語[ベンガル 語]) PC Instructor		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 教育	
中・小分類: 教育		課題: 基礎教育の質の向上(教員訓練、理	
プログラム名: 基礎教育内容向上			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省中等教育局 (現地公用語) Ministry of Education / Directorate of Higher and Secondary Education		
	2) 配属先名 (日本語) マイメイシン県教育事務所 (現地公用語) District Education office		
	3) 配属先所在地 首都(ダッカ)から 北 方向 90 Km マイメイシン県マイメイシン市 主要都市(マイメイシン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 教育省中等教育局は各県に事務所を持ち、District Education Officer (DEO)が地域の中高校の管理を行っている。主に、政府からの補助金支給対象となる学校の登録を行うための受付評価業務を行っている。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 教育省は近年、コンピューターの提供及び教師へのコンピュータ・トレーニングを実施するなどして中等学校におけるコンピューター授業の確立を推進しているが、未習熟な教師が多いため期待されているほどコンピューターの活用が成されていないのが現状。学校現場での既存のコンピューターを補完しながら、授業の質の向上と教師へのスキルアップを行う。現隊員は学校を巡回しながら、コンピューターの基礎知識を指導している。更に、簡単なワードウェアの修理も行っている。部外活動であるが、アメリカンピースコ(英語の先生)やKOICAのボランティア(コンピュータエンジニア・3名)の人達との情報交換も行っている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・マイメイシン市及びシヨドル地域内にある中学校を巡回しながら、コンピューターの実践授業の質の向上をめざして、限られた台数で生徒達にわかりやすい授業を提供できるよう学校側(コンピューター教員)と協力しながら工夫し、実践する。 ・担当教師も2ヶ月程度のトレーニングを受けただけの初心者が多く、スキルアップを行うことも望まれている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 配属先においては特になし 巡回先各学校のコンピューター・ラボラトリー(各学校2~3台程度、多いところは5台以上)、Windows		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先: 県教育事務官 1名 (40代)、アシスタント事務官 1名 (30代) 指導対象者: 14~15歳の中学生生徒、コンピュータークラス担当教員(30~40歳) (多くは2ヶ月程度のPCTトレーニングを受けたのみの初心者)		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ ベンガル 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 基本情報技術者 理由: 担当教員と同等の資格が必要		
概 地 況 域	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 034 - 06 - 0 - 03)		☐ JV⇔SV振替可					
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間				
モルディブ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月				
	指導科目		派遣希望時期				
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor		<table border="1"> <tr> <th>JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊	年 月 から
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類: 計画・行政		分野: 人的資源開発					
中・小分類: 情報・広報		課題: 職業訓練					
プログラム名: (新規分野)							
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education						
	2) 配属先名 (日本語) ラーム環礁教育センター (現地公用語) Laamu Atoll Education Center						
	3) 配属先所在地 首都 (マレ) から 南 方向 220 Km ラーム環礁フォナドゥー島 主要都市 (マレ) までの交通手段及び所要時間 (飛行機で約 1.0時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) ラーム環礁教育センターはラーム環礁の環礁都であるフォナドゥー島にある小中高の合同校で、1~12年生 (日本の小学校1年生から高校3年生) までの生徒517名が在籍しており、2005年の年間予算は282万ルフィア (約22万1千USDル)。外国の援助は入っていない。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モルディブ政府の方針で各環礁都にある教育センターにはコンピュータが配備されているが、コンピュータソフトに明るい現地人教師が絶対的に不足しており、生徒に対して十分な操作指導ができていないのが現状である。コンピュータソフト操作指導のニーズは離島におけるIT化が進むにつれて高まっており、モルディブ人教師の能力開発とコミュニティへの知識還元のためJOCV隊員が要請された。						
	2) 期待される具体的業務内容 1. 授業で生徒に対するアプリケーションソフトウェア (ワード、エクセル、コーレドローなど) の基礎操作指導を行う。 2. カウンターパート教師または一般の教師に対して上記ソフトの使用法の操作指導・業務への活用法の提案等を行う。 3. 学期休みや授業時間外はコミュニティ (一般社会人等) に対する上記ソフトの操作指導・活用法の提案等を行う。 4. 上記対象者にコンピュータ機器 (本体、モニター、プリンターUPS等) の基礎的な維持管理についての知識を提供する。 (ハードのトラブル対応も期待されている。)						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 HPコンパック製デスクトップ機 (15インチCRTモニター・UPSとセット) 15台 (LAN接続)。OSはウィンドウズXP英語版。レーザー・インラインドットプリンタ。マニュアル等。						
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 同僚: 男性1名、Assistant Teacher (短大卒程度、コンピュータ基礎知識講師) 女性1名、小学校教諭で7年生の担任 (コンピュータ基礎知識講師) 指導対象: 生徒は7年生以下で初心者、一般社会人はレベルが個々に異なる。		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ ディヴィヒ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 大卒 理由: 主管官庁である教育省の条件 ・ 実務経験 理由: レベルの異なる社会人指導が含まれるため						
概 況 地 域	気候 (熱帯モンスーン気候) 気温 (27-32 ℃位) 電気 (☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話 (☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道 (☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)						

要請番号(JL 052 - 06 - 0 - 05)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
スリランカ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ JOCV
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor		SV/短期等
大分類: 計画・行政		分野: 中長期開発計画支援	
中・小分類: 情報・広報		課題: 貧困対策支援	
プログラム名: 基礎教育プログラム			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) ハピティガマ教員養成大学 (現地公用語) Hapitigama National College of Education		
	3) 配属先所在地 首都(コロンボ)から 北東 方向 50 Km ガンパハ県ミリガマ 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 3年制の教員養成大学で、1・2年次は主に学内での教育を受け、3年次には現場の小中高等学校に配属され1年間の教育実習を行う。初等教育、障害児教育の2コースがある。1年生の学生は初等教育60名、障害児教育30名が在籍。年間予算は約2000万円。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コンピュータに関する授業は全学生に対し実施されているが、コンピュータを専門とする教員がおらず、コンピュータを実際に使用する実習が不十分である。現地教員は理論的な知識はあるが実践的な経験が少ないため、講義や特に実習時における協力が必要とされている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・コンピュータ使用の基礎からMS Office等のアプリケーションソフトの使い方を中心に、講義及び実習を担当する。 ・指導対象は初等教育コースと障害児教育コースの学生。 ・コンピュータの基本的保守管理を行うとともに、保守管理技術を学生及び現地教員に教える。 ・(可能であれば)プログラミングの基礎について教えられることができれば望ましい。(基本的操作のできる学生・教員が対象) ・テキスト、マニュアルの作成。独習教材用ソフトウェアの作成が出来ればなお良い。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ10台 (WindowsXP、PentiumIV、256MB RAM、80GB HDD) マルチメディアプロジェクター、現時点ではインターネット接続不可。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 常勤教師 3名: 男性2名 40歳代、女性1名 40歳代 指導対象者: 学生 初心者が殆どであるが、中級レベルの学生も若干在籍。		
		6) 業務で使用する言語 ☒ シンハラ 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 教員養成大学であるため ・ 実務経験 3 年 理由: 応用的指導力が必要なため		
概 況 域	気候(熱帯モンスーン) 気温(28-32 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ BS)
短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ☐

記入日: 平成17年12月20日

調査者名: 高木哲也

要請番号(JL 221 - 06- 0 - 06)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
エチオピア	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目		☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor		1 18年度2次隊 2 19年度1次隊 3 年度次隊
大分類: 人的資源		分野: 教育・キャパシティービルディング	
中・小分類: 中等教育		課題: 技術教育・職業訓練の拡充	
プログラム名: 技術教育・職業訓練拡充			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 南部民族州政府教育局 (現地公用語) SNNPR State, Bureau of Education		
	2) 配属先名 (日本語) ジンカ高校 (現地公用語) Jinka Senior Secondary and Preparatory High School		
	3) 配属先所在地 首都(アジスアベバ)から 南西 方向 800 Km ジンカ 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1979年設立の一般高校(9~10年生、22クラス)と主に大学進学を目的とし生徒を対象とする進学高校(11~12年生、4クラス)の公立の併設校である。生徒数は全日制が1930人(午前と午後のシフト制)、夜間クラスが270名。教師数は35名。2005年度の学校予算(教師の給料は除く)は約2万2千ブル(約30万円)である。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国は近年、教育に力を入れているが、生徒数と比較して学校、教師数の不足は深刻な問題となっている。現在、多くの高校では外国の援助団体等から寄贈されたコンピュータをもとにコンピュータの授業を実施している。しかし、理論と実践を兼ね備えた優秀な教師が不足しており、生徒に対して十分な授業を提供できないのが現状であり、今回の隊員要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 一般高校(9~10年生)では、10年生終了時に全国統一試験があり、この成績によって一般教育コースに進学するか、職業教育コースに進学するかに分かれる。進学高校(11~12年生)は文系、理系に分かれる。 隊員は構内に設置されたコンピュータ室にて、コンピュータの授業を担当する。使用できるコンピュータ15台を利用してWindowsXPの操作方法、マイクロソフト・オフィス(Word、Excel、Outlook Express等)の使用方法を生徒に対して教え、実践的な知識・技術レベルアップを図る。 なお、実際の授業数等については、隊員の赴任後に学校長、教科主任及び隊員を交えての話し合いにて決定される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ室(コンピュータ15台)、ウィンドウズXP		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師は35名(男性33名、女性2名)。 その内、数学教師1名がコンピュータの授業を兼任。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英語 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 理由: 高校教師は通常大卒であるため ・経験2年以上 理由: 実践的な技術・知識が求められるため		
概況	気候(良好) 気温(15-25 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 221 - 06 - 0 - 07)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: 高木哲也	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
エチオピア	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor			2 19年度1次隊	
			3 年度 次隊		
大分類: 人的資源		分野: 教育・キャパシティービルディング		プログラム名: 技術教育・職業訓練拡充	
中・小分類: 中等教育		課題: 技術教育・職業訓練の拡充			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 南部民族州政府教育局 (現地公用語) SNNPR State, Bureau of Education				
	2) 配属先名 (日本語) アワサ高校 (現地公用語) Awassa Tabor Senior Secondary and Preparatory High School				
	3) 配属先所在地 首都(アジスアベバ)から 南西 方向 283 Km アワサ 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1969年設立の一般高校(9~10年生、52クラス)と主に大学進学を目的とし生徒を対象とする進学高校(11~12年生、16クラス)の公立の併設校である。生徒数は全日制が6,300人(午前と午後のシフト制)、夜間クラスが500名。教師数は122名。2005年度の学校予算(教師の給料は除く)は約33万ブル(約260万円)である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国は近年、教育に力を入れているが、生徒数と比較して学校、教師数の不足は深刻な問題となっている。同校では外国の援助団体等から寄贈されたコンピュータをもとにコンピュータの授業を実施しているが、IT教師は現在1名しかおらず、生徒に対して十分な授業を提供できないのが現状であり、今回の同分野における隊員要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 一般高校(9~10年生)では、10年生終了時に全国統一試験があり、この成績によって一般教育コースに進学するか、職業教育コースに進学するかに分かれる。進学高校(11~12年生)は文系、理系に分かれる。 隊員は構内に設置されたコンピュータ室にて、コンピュータの授業を担当する。使用できるコンピュータ30台を利用してWindowsXPの操作方法、マイクロソフト・オフィス(Word、Excel、Outlook Express等)の基本的な使用方法を生徒に対して教え、実践的な知識・技術のレベルアップを図る。 なお、実際の授業数等については、隊員の赴任後に学校長、同僚のIT教師及び隊員を交えての話し合いにて決定される。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ室(コンピュータ30台)、ウィンドウズXP				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師は122名。 その内、IT教師は現在1名のみ。		6) 業務で使用する言語 ☒ 英語 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 高校教師は通常大卒であるため ・ 経験2年以上 理由: 実践的な技術・知識の教授が求められるため				
概況	気候(良好) 気温(15-25 ℃位) 電気(☒ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)				

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ 日ス)
 短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ☒
--------	---

記入日: 平成17年12月8日

調査者名: 谷口和代/岩下京二

要請番号(JL 227-06-0-01)		☐ JV⇄SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間				
ガーナ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月				
	指導科目			派遣希望時期			
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor			<table border="1"> <tr> <th>JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類: 計画・行政		分野: 教育					
中・小分類: 情報・広報		課題: 産業人材育成					
プログラム名: 技術職業教育訓練支援							
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports						
	2) 配属先名 (日本語) 聖母ファティマ職業学校 (現地公用語) Our Lady of Fatima Vocational/Business School						
	3) 配属先所在地 首都(アクラ)から 北西 方向 383 Km ブロンガアファフ州ウェンチ 主要都市(スンヤニ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 ? 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1981年に創立され、被服、料理、商業、秘書それに経理の5コースを有し、年間予算は3.6億セディ(約US\$40,000)である。生徒数248名、教師数は非常勤を含めて13名である。現在コンピュータ技術の青年海外協力隊員が活動中であるが、他のボランティアは派遣されていない。						
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICA国別事業実施計画における産業人材育成プログラム(技術職業教育訓練支援サブプログラム)の一環としての隊員派遣要請。 卒業生は、NVTI(国立職業訓練機関)が行なう国家試験の1及び2級を受験できるが、タイピングの能力等が低くて合格者が出にくい状況にある。現在活動中の隊員以外に、コンピュータの指導が出来る教師が確保できておらず、隊員派遣のインパクトを継続するために2代目隊員の要請となった。						
	2) 期待される具体的業務内容 1. 授業時間は、平日の午前7時15分から午後2時30分まで(1時限は40分)である。 2. 全学年にコンピュータの初歩的な指導(キーボード入力、ソフトウェアの使用法、文書作成等)を行なう。 3. 担当授業コマ数は、週に24コマ程度である。 4. ネットワークに関する知識があればなお好ましい。 5. ハードウェアの故障が多いことから、そうした問題にある程度対処できればなおよい。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ドイツから寄贈されたパソコン12台(OS-Windows 2000/Office 2000 Pro.)						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現在30代の同僚が1名いるが、多忙なので別に指導可能な同僚教師を確保するよう依頼している。指導対象者は、中学や高校の卒業生であり既婚者もいる。						
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☐ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 高卒以上の訓練生を指導するため						
概況	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)						

要請番号(JL 227 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
ガーナ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ JOCV ☐ SV/短期等
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から
大分類: 人的資源		分野: 教育	
中・小分類: 教育		課題: 産業人材育成	
プログラム名: 技術職業教育訓練支援			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports		
	2) 配属先名 (日本語) メソヂスト女子高等学校 (現地公用語) Methodist Girls' High School		
	3) 配属先所在地 首都(アクラ)から 北 方向 50 Km イースタン州マンフェ 主要都市(コフォルディア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1984年に創立された女子校で、年間予算は12億4千万セディ(約US\$137,400)である。生徒数630名、教師数31名その他に1名のガーナ人ボランティアがいる。過去において、青年海外協力隊員やVSO(英国ボランティア)の理数科教師を受入れた実績がある。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICA国別事業実施計画における産業人材育成プログラム(技術職業教育訓練支援サブプログラム)の一環としての隊員派遣要請。 GES (Ghana Education Service) が選定したコンピュータ室整備対象校のひとつで、今年度予算にて46台のコンピュータが設置される予定。現在1名のPCインストラクターが、10台のパソコンを使って全校生徒対象に初歩的な授業を行なっている。今後増設されるパソコンを使用し、効率的且つ効果的な授業を企画・実施するために本要請となった。また、青年海外協力隊員との協働による同僚教師のスキルアップも期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 授業時間は、平日の午前7時10分から午後2時20分まで(1時限は35分)である。 2. 1・2年生のコンピュータクラスを担当し、週に25コマ程度の授業を行なう。 3. 授業内容は、パソコンに関する初歩的な指導(キーボード入力、ソフトウェアの使用法、文書作成等)である。 4. 課外活動等での日本文化紹介等も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 現在のパソコン台数は10台 (OS-Windows 95, 98, 2000, XPが混在)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師: 1名 (20代) 指導対象者: 中学校を卒業した生徒たち		
		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 同僚教師への指導を行なうため		
概 地 況 城	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 227 - 06 - 0 - 03)		☐ JV⇔SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間				
ガーナ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月				
	指導科目			派遣希望時期			
	(現地公用語[英 語]) PC Instructor			<table border="1"> <tr> <th>JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類: 人的資源		分野: 教育					
中・小分類: 教育		課題: 産業人材育成					
プログラム名: 技術職業教育訓練支援							
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports						
	2) 配属先名 (日本語) ボルガタンガ技術短期大学 (現地公用語) Bolgatanga Polytechnic						
	3) 配属先所在地 首都(アクラ)から 北 方向 820 Km アッパーイースト州ボルガタンガ 主要都市(ボルガタンガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 ? 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1999年創立で、統計、秘書、マーケティングそれに経理の4コースを有し、年間予算は18.5億セディ(US \$ 205,000)である。今年度末には農業機械コースが新設される予定。学生数266名、教師数12名、この他にガーナ人のボランティアが3名いる。これまで外国人ボランティアを受入れた実績はない。校舎の新築工事が完了すれば、現在の仮校舎から移転の予定。						
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICA国別事業実施計画における産業人材育成プログラム(技術職業教育訓練支援サブプログラム)の一環としての隊員派遣要請。 新設校ながらコンピュータ機材は揃っているが、1名いた基本的なソフトの使用方法を指導できる教師が退職したので、現在は非常勤講師1名による授業しか行なわれていない。コンピュータ室整備の予算も獲得してあるが、信頼できる教師が確保できないことから本要請となった。学長は、勤勉な日本人の職業倫理観を、同校の学生や教師たちに見せたいという願望も持っている。						
	2) 期待される具体的業務内容 1. 授業時間は、平日の午前7時30分から午後2時まで(1時限は120分)である。 2. 全てのコースのコンピュータ概論を担当し、基本ソフト(ワード及びエクセル)やパワーポイント等の操作方法を指導。 3. 担当授業コマ数は、週に12コマ程度である。 4. データ処理のソフトに関する知識があればなおよい。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 DellやCompaqのコンピュータ30台(OS: Windows XP Pro., 2002 version, Office Accessなど)を設置したコンピュータ室あり。プリンターやコピー機も設置されている。						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教師: 1名(30代、大卒) 指導対象者: 高校を卒業した学生たち						
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☐ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 同僚教師への指導を行なうため						
概況	気候(熱帯) 気温(25~40 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)						

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ BS)
 短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ☒
--------	---

記入日: 平成17年12月23日

要請番号(JL 227-06-0-04)		☐ JV⇔SV振替可		調査者名: 岩下京二/H. クマ		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ガーナ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語])			2	18年度3次隊	
	PC Instructor			3	19年度1次隊	
大分類: 人的資源		分野: 教育		プログラム名: 技術職業教育訓練支援		
中・小分類: 教育		課題: 産業人材育成				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 (現地公用語) Ministry of Education and Sports					
	2) 配属先名 (日本語) オラ教員養成校 (現地公用語) Our Lady of Apostles Training College					
	3) 配属先所在地 首都(アクラ)から 西 方向 145 Km セントラル州ケープコースト 主要都市(ケープコースト)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1924年に創立された歴史のある女子教員養成校で、年間予算は46.7億セディ(約US\$518,000)である。生徒数875名(3年生の248名は教育実習に出ているので、キャンパスにいるのは1・2年生の627名)、教師数51名そのうち2名でコンピュータを担当している。過去において、IFESH(International Foundation for Education and Self-Help)のボランティアが、リソースセンターの教材作りに派遣されていたが、JICAボランティア派遣の実績はない。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) JICA国別事業実施計画における産業人材育成プログラム(技術職業教育訓練支援サブプログラム)の一環としての隊員派遣要請。 GES (Ghana Education Service) が選定したコンピュータ室整備対象校のひとつで、今年度予算にて46台のコンピュータが設置される。現在2名のPCインストラクターが、38台のパソコンを使って2年生対象に初歩的な授業を行なっている。今後増設されるパソコンを使用し、効率的且つ効果的な授業を企画・実施するために本要請となった。また、青年海外協力隊員との協働による同僚教師のスキルアップも期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 授業時間は、平日の午前7時分から午後2時30分まで(1時限は60分)である。 2. 2年生のコンピュータクラスを担当し、週に15コマ程度の授業を行なう。 3. 授業内容は、パソコンに関する初歩的な指導(キーボード入力、ソフトウェアの使用法、文書作成等)である。 4. ネットワーク、インターネットおよびマルチメディアに関する知識があればなお良い。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 現在のパソコン台数はCompaqのコンピュータを中心に38台(OS-Windows 2003)。					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 2名(20~30代、大卒) 指導対象者: 高校を卒業した学生					
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 同僚教師への指導を行うため					
概 地 況 概	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)					

記入日: 平成17年1月6日

調査者名: 黒木 直敏

要請番号(JL 235 - 06- 0 - 02)		☐ JV⇔SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間				
ケニア	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	派遣希望期間				
	指導科目		派遣希望時期				
	(現地公用語[英 語]) Computer Instructor		<table border="1"> <tr> <th>JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊	年 月 から
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類: 人的資源		分野: 人材育成					
中・小分類: 教育		課題: 基礎教育の充実					
プログラム名: 教育格差の是正							
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 (現地公用語) Ministry of Home Affairs						
	2) 配属先名 (日本語) N. Y. S. モンバサ技術大学 (現地公用語) National Youth Service Mombasa Technical College						
	3) 配属先所在地 首都(ナイロビ)から 南東 方向 550 Km モンバサ 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 7.0時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国家事業への労働力確保と、青年育成を目的とした団体。各種技能を活かした奉仕活動から、国家イベントの警備補助、消防・災害復旧・開拓事業などを行っている。毎年3,500名の程度の入隊があり、1万人程度が登録されている。技能を得るための学費等一切が供与されており、卒業後は一般社会への就職となる。モンバサ校年間予算、約1,500万円						
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モンバサ校は約500名の生徒が全寮制で学んでおり、建築科・鉄工科・自動車整備科・電気科・木工科が運営されている。膨大な生徒数に比較して教員数が29名と少数であるため、十分な授業が実施できていない。新教育制度の中でコンピュータの授業は、必須授業として位置付けられているが、新規科目であるため授業に対処できる教師が不足している。また、故障やトラブルの際に修復作業ができる技術者が不在であるため、実習用の機材が十分に活用できていない。						
	2) 期待される具体的業務内容 生徒は日本の高校卒業レベルであるが、コンピュータの操作経験はほとんどない初心者である。コンピュータ授業に関しては教育省により初等・中等教育に導入され始めており、シラバスも定められているが内容も不十分な点が多い。同団体では、コンピュータ授業に対応できる教員が不足しており、コンピュータ教員として授業を担当することが求められている。また、実習コンピュータ機材の保守管理を隊員が担当することにより、機材の安定稼働および有効活用できることを期待している。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ実習室、コンピュータ(Windows2000)×6台						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル インストラクター1名 指導対象は高校卒業レベルだが、コンピュータはまったくの初心者。						
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ コンピュータ修復技術 理由: 配属先の提示条件であるため						
概況	気候(亜熱帯) 気温(20-35 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)						

要請番号(JL 331 - 06 - 0 - 13)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
エクアドル	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目		☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[西 語]) Instructor de PC		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 計画・行政		分野: 貧困対策	
中・小分類: 情報・広報		課題: 産業開発・雇用創出	
プログラム名: 産業開発・雇用創出プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業・労働省 (現地公用語) Ministerio de Trabajo y Empleo		
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練センターロハ校 (現地公用語) Servicio Ecuatoriano de Capacitacion Profesional (SECAP Centro Multiple de Loja)		
	3) 配属先所在地 首都(キト市)から 南 方向 647 Km ロハ県ロハ市 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1.0時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同職業訓練センターは全国各地で技術者の即戦力を育成する目的で、定期的な職業訓練を行なっている。ロハ校にはコンピュータ技術以外に自動車科等各種訓練科目がある。 2006年の年間予算は6,537,156米ドル。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターにはコンピュータ技術に精通したインストラクターがいないため、臨時指導員と契約を締結し、各種講座を実施している。職業訓練施設として受講生への十分な指導ができない等ニーズに応えられないため、隊員要請に至った。 センター内のローカル・エリア・ネットワークの環境整備に対する技術的助言やWindows XPの有効活用等多目的なコンピュータ技術指導(理論、実習、応用)が期待される。受講者は初心者と民間会社の技術者が多いため、コンピュータ技術指導の実務経験を有していることが望ましい。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①Windows XPを使用して基礎指導(理論、実習、応用)を行なう。Word(文書作成等)、EXcel(経理等)、Power Point(プレゼンテーション等)、Paginas WEB y Internet(インターネット、ネットワーク)、等々、基礎技術にかかる各種指導。 ②受講生を対象に午前中(初級)及び夜間(中級以上)のコンピュータ技術指導を行なう。授業は午前中コースが07:00~10:00、夜間コースが18:00~21:00、生徒は各コース共に約18名(コンピュータ1台に生徒2名配置)。 ③先生方と情報交換を重ねつつ、コンピュータ技術の基礎教育(理論、実習、応用)の強化・資質向上を図りたい。カウンターパートは居るが、コンピュータの基礎知識のみを有し、マンパワー的活動になる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 訓練センター内のコンピュータ10台及び事務業務を行なうための同センター備品。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 女性、実務経験なし 同僚: 2名の事務職員、30~40代		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ スペイン語 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験5年 理由: 生徒及び同僚教師への指導及び助言が必要		
概況	気候(高原気候) 気温(12-25℃位)	電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)	水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)
	電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし)		

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ 日ス)

短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ☒ X

記入日: 平成17年12月7日

調査者名: 竹前 雅子

要請番号(JL 416 - 06 - 0 - 03)		☐ JV⇄SV振替可		
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	
トンガ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[英 語]) system engineering			☐ JOCV ☐ SV/短期等
大分類: 計画・行政	分野: 教育	プログラム名: 基礎・情操教育改善		
中・小分類: 情報・広報	課題: 基礎教育の改善			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) カトリック教会教育部 (現地公用語) Catholic Education Diocese of Tonga and Niue			
	2) 配属先名 (日本語) タクイラウ・カレッジ (現地公用語) Takuilau College			
	3) 配属先所在地 首都(スクアロファ)から 南東 方向 25 Km ラパハ 主要都市(スクアロファ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.8時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1975年創立のカトリック系中高一環校で、生徒数は240人、教職員数は24人である。年間予算は180万円で、学科が使用できる予算は、年間9万円程度である。同校には2年前までピースコーが配属され、英語教師の傍ら、簡単なコンピュータの授業を担当していた。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガでは、政府系の公立学校に比べると教会系の私立学校は予算的な裏付けが少ない。このため、教員の手当てが低く、定着率も悪いところから、常に教員不足の状態で、教育の質の向上が望まれる状況にある。なかでも、理数系やIT系の科目の教員不足は深刻であるところから、今回の要請となった。トンガでは高校終了時にPSSPと呼ばれる統一試験が実施され、コンピュータ科学が科目に含まれる。この試験合格者を上げることが重要であり、隊員派遣に期待がかけられている。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・フォーム5、6(17~18歳)の生徒に、実習も含め、週に10コマ(1コマ50分)程度の授業を行う。 ・実習は、初期操作、各種ソフト(Word、Excel、Access、グラフィック)の使用方法を教える。 ・必要に応じ、コンピューターのメンテナンスも行う。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 デスクトップ型コンピュータ15台(内訳はWindows2000 3台、WindowsXP 13台)、ソフトウェア(Word、Excel、Access、Power Point、Outlook、Publisherなど)、スキャナー1台(UMAX)、プリンター2台(HPレーザージェット)			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 20代、女性、コンピュータ教師			
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ トンガ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: ・			
概 況 地 域	気候(亜熱帯、高温多湿) 気温(15~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)			

要請番号(JL 416-06-0-04)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
トンガ	職種 PCインストラクター (コード 667)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[英 語]) system engineering		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 計画・行政		分野: 教育	
中・小分類: 情報・広報		課題: 基礎教育の改善	
プログラム名: 基礎・情操教育改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) エウア高校 (現地公用語) Eua High School		
	3) 配属先所在地 首都(ヌクアロファ)から 南東 方向 30 Km エウア島オホヌア 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(船 で約 2.0時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1993年に、日本の無償援助で建設された公立の中高一貫校で、フォーム1~6(12~18歳)の6学年の教育を実施している。生徒数は約500人、教職員数は37名である。年間予算はT\$30万(約1,800万円)である。同校には昨年末までピースコーが配属され、コンピュータの授業を担当していた。また、同島内のホファンガハウ・カレッジに、1名ピースコーが現在も配属されている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガでは、教育の質の向上が望まれる状況にあり、なかでも、就業に直接結びつく技術系の科目に対する要望が強い。しかしながら、当該分野を指導できる質の高い教員の不足は、深刻な状況にある。また、離島では、教育機会も限られるため、島全体のコンピュータ分野の向上のためにも、隊員派遣に期待がかけられている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・フォーム3~6(15~18歳)の生徒を対象にした、週15コマ(1コマ50分)程度の授業 ・初期操作、各種ソフト(Word、Excel、Access、グラフィック)の使用法の指導 ・デザイン関連授業の補佐 ・コンピューターのメンテナンス(ハード面、ネットワーク) ・コンピューター室の整備と管理		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・コンピュータ(コンピュータ室/LAN20台、職員室3台) Windows95、98をXPにアップグレードしたもの ・スキャナー1台、プリンター3台 ・インターネット(ローカルプロバイダー)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長: コンピュータ担当教諭、50代 同僚: 5名、20代~50代		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ トンガ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: ・		
概況	気候(亜熱帯、高温多湿) 気温(15~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 028 - 05 - 1 - 05)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
ラオス	職種 美術 (コード 670)	☐ 新規 ☒ 交替 3 代目	派遣希望時期
	指導科目		☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[ラオ 語]) Fine Arts		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 人的資源		分野: 公平で健康な社会の形成	
中・小分類: 文化		課題: 教育・職業訓練の拡充・強化	
プログラム名: 初中等教育の拡充プログラム			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) 芸術教員養成学校 (現地公用語) Teacher Training School of Arts		
	3) 配属先所在地 首都(ビエンチャン市)から 方向 Km ビエンチャン市チャンタブリー郡 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1982年に創立されたラオス唯一の芸術教員養成学校。3年制であり、音楽学科と美術学科がある。美術学科ではラオスの伝統美術の授業も行われている。生徒はラオス全土から来ており、その数は各学科約100名、年齢は16~24歳である。同配属先に隣接する女子学生寮は日本の草の根無償によって建設された。現在、音楽学科と美術学科にそれぞれ1名の青年海外協力隊員が活動している。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2名の協力隊員が派遣されて着実に活動を行ってきているが、入学前に美術に関する指導を受けたことが無い生徒がほとんどであるため、その指導対象範囲は広く、引き続き協力の必要性がある。また、当国には美術教育専門のカリキュラムがないために同配属先は独自のカリキュラム(授業編成)を作成しているが、その改善に向けたアドバイスも求められている。前任者はラオス人教員と生徒を対象にドローイング、デッサン、彫塑の指導をしてきた。また、生徒が将来教員となって子供たちへ指導する際に役立つように、教育としての美術を意識して紙芝居・パズル・折り紙を授業に取り入れたり、同配属先で活動する音楽隊員と協力してコンサートを開催し、生徒の発表の場を設けたりと工夫して協力を行ってきた。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ラオス人教員の美術における知識および指導能力の向上を目的とした指導・協力 ・ラオス人教員とともに生徒に対するドローイング、デッサン、彫塑の指導 ・同配属先のカリキュラム(授業編成)改善に向けたアドバイス ・美術を通しての想像力育成を目的とした情操教育の紹介		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 石膏像(2体)、粘土、イーゼル		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(男性・50歳代、美術専門で日本での2年間の研修経験あり。レベルは高い。) 副校長(男性・40歳代) ラオス人美術教師 は校長を含めて全員男性で9名(25歳~40歳代)。そのうち校長を含めて3名は日本での研修経験がある。女性美術教員は協力隊員のみ1名。		
6) 業務で使用する言語 ☒ ラオ 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 (美術) 理由: 現職教員を指導するため。 ・ 美術指導経験2年以上 理由: 教育現場で指導するため。		
概 況 地 域	気候(亜熱帯) 気温(20~35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

記入日: 平成18年1月4日

調査者名: 庄子 てい子

要請番号(JL 058 - 06- 0 - 10)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目 (コード 670)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ベトナム	職種 美術 指導科目 (現地公用語[ベトナム 語]) MY THUAT	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	派遣希望時期		
		JOCV SV/短期等	
		1 18年度2 次隊	
		2 18年度3 次隊	
		3 19年度1 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 保健医療	
中・小分類: 文化		課題: 福祉体制・制度の整備	
プログラム名: 障害者福祉支援プログラム			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) カマウ省教育訓練局 (現地公用語) SO GIAO DUC VA DAO TAO		
	2) 配属先名 (日本語) カマウ省養護学校 (現地公用語) TRUONG NUOI DAY TRE KHUYET TAT CA MAU		
	3) 配属先所在地 首都(ハノイ市)から 南 方向 2000 Km カマウ省カマウ市 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は2004年に設立、翌年から言語聴覚障害児33名の受入れ、運営を開始した。言語・視覚・聴覚・知的障害などの障害児の社会参加と自立促進を目的として、初等教育及び社会的・職業的訓練を実施している。少数民族、貧困層、障害の程度が重く普通教育を受けるのが困難な児童を優先に受入れており、児童の多くは寄宿舎で生活をしている。年間予算は19,000USD/220万円。アメリカのNGOより補聴器の寄贈、イギリス政府機関より視聴覚機材・教材の供与有。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2006年に児童20名を増員、将来的には児童数150名体制とする予定であるが、設立から数年経過したばかりであり、教育内容や訓練プログラムは試行錯誤状態である。午前中は教育訓練局のカリキュラムに沿った一般科目(国語・算数・自然科学など)や手話の授業、午後は美術・音楽・ダンスなどの授業を実施している。美術は外部の小学校教師が臨時で担当しているなど、教師不足に加え、教師は特殊教育に関する専門知識がないことが課題となっている。したがって、教育の質向上を図るべく、美術の指導経験があり、障害児教育に関する知識を有するボランティアを受入れたいとの意向から本要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1) 約50名の言語聴覚障害児への美術の授業を担当する。 ベトナムでは普通学校においても美術の授業はサンプルの模写が中心であり、指導用の教材もほとんど市販されていないため、隊員は現地で入手可能な材料にて工夫して様々な技法を紹介し、子どもたちの表現力や想像力を育てる授業を行う事が期待されている。 2) 障害児に対するアプローチの方法など特殊教育に関する同僚教師への助言。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、コンピューター、プリンター、TV、VCDプレイヤー		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長1名、副校長2名(1名は教育プログラム担当:女性、30代、教師経験17年) 教師4名(男性3名女性1名、20~30歳代)、2006年は1名増員の予定。 指導対象の児童:6~15歳までの言語・聴覚障害児、約50名		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ ベトナム 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 障害者指導経験 理由: 障害者施設での業務となるため。 ・ 大卒 理由: 教師として必要。		
概 地 況 概	気候(亜熱帯性気候) 気温(25~35 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 205 - 05- 1 - 02)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望時期
ボツワナ	職種: 美術 (コード 670)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[英 語]) fine arts		☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
			1 18年度2 次隊 2 18年度3 次隊 3 19年度1 次隊
大分類: 人的資源		分野: 教育	
中・小分類: 文化		課題: 質の高い教育提供	
プログラム名: 中等教育の質の向上			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 中等教育局 (現地公用語) Ministry of Education, Department of Secondary School		
	2) 配属先名 (日本語) モレフィ高等学校 (現地公用語) Molefi Senior Secondary School		
	3) 配属先所在地 首都(ハボロネ)から 北東 方向 40 Km モチュディ 主要都市(ハボロネ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 小学校7年(Grade1-7)、中学校3年(Form1-3)修了後2年間の中高等教育(Form4-5)を提供する公立の高等学校。生徒数1700人、教師数120人。生徒の約四分の1が寮生で、残りは通学生。電気、水道あり。生徒への無料給食提供あり。年間の予算は、日本円で約7200万円。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ボツワナ国では美術科講師が不足しており、前任者は同国中等学校美術教育への1代目隊員である。授業内容及びそのレベルを調査しながら、一講師として高校生に対し授業を行っているが、今後も情操教育向上のため、現地美術講師と指導技術及び授業内容の情報交換を行いながら、同国では新教科である美術の水準を高めるため隊員の要請にいたった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・美術教師として授業を担当する。 ・指導内容は、①オブザーベーション ②2Dデザイン ③インタープリタティブ ④3Dデザイン ①は主に観察描画 ②はポスターなど ③はテーマ描画 ④は彫塑や陶芸などであり、これらのカテゴリーの中から生徒が自由に選択し、作品を作る。教師はその個々の指導助言に当たる。各学期末には10時間テスト、最終学年末には2年間を通して製作するコースワークが各生徒の課題として与えられ担当教師が評価する。ただし、学年末テストは他校教師が評価をすることになっている。生徒が製作するための材料は全て支給される。彫刻、窯芸、手工芸に対する技術指導も求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 美術科教官室にあるコンピュータやその他事務機器		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 美術科教師3名(男性 40代～50代 修士、経験20年以上) 指導対象者: 16歳～19歳		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(美術) 理由: 同僚教師は修士保持者 ・教諭免許(中高美術) 理由: ・教員経験2年 理由: レベルの高い指導が求められている		
概 況 地 域	気候(サバンナ) 気温(30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 285 - 05- 1- 20)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: 渡辺 和弘		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ジンバブエ	職種 美術 (コード 670)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語])			2	18年度3次隊	
	fine arts			3	19年度1次隊	
大分類: 人的資源		分野: 所得向上に結びつく産業振興のための条件整備		プログラム名: 人材育成		
中・小分類: 文化		課題: 人材開発、特に職業訓練校に対する支援				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 (現地公用語) Ministry of Higher and Tertiary Education					
	2) 配属先名 (日本語) ユナイテッドカレッジ (現地公用語) United College of Education					
	3) 配属先所在地 首都(ハラレ)から 南西 方向 440 Km ブラワヨ 主要都市(ブラワヨ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 初等教育、幼児教育、障害児教育に携わる人材の育成を目的とした教員養成学校。学生数は全課程で約500名。美術担当の講師は5名。年間予算は約US\$100,000(2005年11月1日現在のレート: US\$1=ZW\$60,000で計算)。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の初等、中高等教育における美術分野への取り組みは十分に確立されておらず、美術授業自体を行っていない学校も多数存在している。同校の教員養成課程では美術を含め、小学生、幼児、障害児に授業を行う人材を育成しているが、過去に体系化した美術授業を受けたことがない学生も含まれており、また現地人講師は自国の美術・芸術以外に関する知識が乏しい面もあり、授業内容の充実を目的にJOCVの要請に至った。また外国人を受け入れることによる異文化交流や技術交流をとおり学生や講師の活性化を図ることも意図されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・学生を対象に美術の講義や実習(織物、グラフィックデザイン、スケッチ、絵画、版画、彫刻、陶芸など)を担当する。 (※実際に指導する科目は隊員と配属先で協議し決定される。) ・試験問題作成、試験監督及び評価を行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 製陶用ろくろ、エビディアスコープ、製図盤					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 美術科講師: 5名 カレッジの学生					
	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 理由: 配属先が提示する条件 ・教諭免許(美術) 理由: カレッジでの講義を担当するため必要 ・指導経験3年程度 理由: カレッジでの講義を担当するため必要					
概 況 域	気候(内陸性気候) 気温(5-35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)					

要請番号(JL 322 - 06 - 0 - 09)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
コスタリカ	職種 美術 (コード 670)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目		☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[西 語]) Bellas Artes		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 人的資源		分野: 市民生活の質の向上	
中・小分類: 文化		課題: 文化的に多様な社会の実現	
プログラム名: 生涯教育の機会提供			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ナショナル大学 (現地公用語) Univesidad Nacional		
	2) 配属先名 (日本語) 美術研究センター (現地公用語) Centro de Investigación en Artes Aplicadas		
	3) 配属先所在地 首都(サンホセ)から 北 方向 11 Km エレディアから 主要都市(サンホセ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナショナル大学は、コスタリカ国を代表する総合大学の一つとして当国の経済発展に寄与すべき人材育成に貢献している。同大学の美術研究センター(以前は美術学科と称されていた)は、27名の教師と300名の学生が在籍しており、今年で21年目を迎える。過去にグラフィックデザイン、油絵、染色、ビン細工の協力隊員が活動した経緯がある。同センターを修了した学生は、美術科教師の免状を取得して卒業することになる。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コスタリカ国の美術教育向上を図ることを目的に、小学校及び中学校の美術授業のカリキュラム改善と大学の美術科の履修すべきカリキュラムの改善を実施することになり、教育省と美術研究センターが協議を進めているところである。しかしながら十分な知識や情報もなく対策を検討していたところ、数回の本邦研修を経験した大学教授から日本の美術教育は充実したものであるとの評価から協力隊員の要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 大学 美術研究センターの授業カリキュラム改善へのアドバイス 2. コスタリカ国の小学校、中学校の美術指導要領改善へのアドバイス 3. 教育省と美術研究センターと共に現役美術教師へのセミナーの開催 4. 日本の美術教育法の紹介 5. 日本の美術授業での教材紹介		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 美術研究センター教師、男性、教師経験20年、大学卒。 日本への研修経験があり少しの日本語を話す。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ スペイン 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒 理由: 大学内での活動であるため ・ 学校美術指導経験 理由: 経験無しでは活動が困難となる。		
概況	気候(温暖) 気温(15~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ BS)
短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ☒
--------	--

記入日: 平成17年12月22日

要請番号(JL 419 - 06 - 0 - 01)		☐ JV⇔SV振替可		調査者名: 松井 信晃	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
サモア	職種 美術 (コード 670)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	JOCV	
	指導科目 美術			1 18年度2 次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語]) fine arts			2 18年度3 次隊	
			3 19年度1 次隊		
大分類: 人的資源		分野: 教育		プログラム名: 職業技術教育訓練強化	
中・小分類: 文化		課題: 職業技術教育訓練強化			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 財務省 (現地公用語) Ministry of Finance				
	2) 配属先名 (日本語) BEN美術学校 (現地公用語) Beautiful Expression of Nature				
	3) 配属先所在地 首都(アピア中心部)から 南東 方向 1.5 Km アピア市レラタ 主要都市(アピア中心部)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 木彫、ステンドグラス、絵画、モザイク、墓石デザイン、看板作成などの技術を習得することを通じて、美術系の職業訓練教育を行っている職業訓練校。2000年に創設された同校の校長は日本への留学経験もある。3年のCertificateコースとその後2年のDiplomaコースがある。また、それぞれの短期コースも開設される。学生数約20名、専任講師2名、ボランティア1名そのほか数名が全過程終了後助手として美術作品の制作と後進の指導にあたっている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、任国の木彫の第一人者といわれる校長が全体の統括を行っているが、制作などが多忙であると同時に、デッサン及び絵画についての指導がやや弱い。特にデッサン、絵画の指導を中心に行ってくれる人材を求めている要請となった。同校は学校でもあると同時にアトリエであり、墓石やステンドグラス、木彫の受注も行っている。学生の中で優秀なものは、将来、同校の講師として後進の指導にあたる可能性もある。一方、子供たちのために絵画関係の短期コースの開設も計画されており、ボランティアには同コースの指導も期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・学生及び助手たちへのデッサン、絵画の指導 ・子供を対象とした絵画コースの運営支援 ・木彫やデザインなどについての助言 ・そのほか校長からの依頼事項				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電動丸鋸、電動鉋、ノミ、槌、絵の具、筆など				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ女性1名、男性数名(10代-30代)、木彫についてはある程度の技術はあるものの、デッサンや絵画についての技術は限定的				
	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・短大卒(美術系)以上 理由: デッサン、絵画についての基礎的な指導ができる				
概 況 地 域	気候(熱帯海洋性) 気温(25-32 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)				

記入日: 平成17年12月31日

調査者名: 佐藤 秀樹

要請番号 (JL 037 - 06 - 0 - 12)		☐ JV⇔SV振替可											
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間										
モンゴル	職種 デザイン (コード 675)	☐ 新規 ☒ 交替 3 代目	派遣希望時期										
	指導科目 (現地公用語[モンゴル 語]) Dezain		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV		SV/短期等	1	18年度2次隊	年 月 から	2	18年度3次隊	3	19年度1次隊
	JOCV		SV/短期等										
1	18年度2次隊	年 月 から											
2	18年度3次隊												
3	19年度1次隊												
大分類: 人的資源		分野: 市場経済化を担う制度整備・人材育											
中・小分類: 職業訓練		課題: 教育行政、教員研修制度、指導法改											
プログラム名: 職業訓練プログラム													
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化科学省 (現地公用語) Bolovsrol soyol shinjlekh ukhaanii yam												
	2) 配属先名 (日本語) 文化大学 (現地公用語) Soyoliin Kollej												
	3) 配属先所在地 首都 () から 方向 Km ウランバートル市 主要都市 () までの交通手段及び所要時間 () で約 時間												
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学は、1965年に設立され、文化学部(観光日本学科、図書館学科、博物館学科、印刷学科、文化経営学科、文書整理学科、マルチメディア学科)と教員養成学部(音楽学科、舞踏学科)があり、文化芸術系の専門家を養成している。教師60名、学生数1200名である。年間予算は3億2800万Tg(約3300万円)。												
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学のマルチメディア学科は、2004年に設立され、学生53名、教師8名(内コンピュータ教師3名)からなっている。しかしながら、マルチメディアに精通した講師はおらず、現在は印刷学科に派遣されている前任者が協力している。印刷学科については、ほぼ隊員の技術を吸収できたことから、今後はマルチメディア学科への、ボランティア派遣が要請された。												
	2) 期待される具体的業務内容 配属先のマルチメディア学科において、以下の活動を行う。 1) 3Dアニメーションの製作、映像編集等について、2、3年生のクラス(それぞれ約25名)を対象に週6コマ(1コマ90分)の授業を担当する。 2) 3Dアニメーションの製作、映像編集等について、同僚講師を対象に技術指導する。 なお、使用するアプリケーション3dsMax, その他。												
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等												
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 1. 女性 30代 2. 女性 30代 学生 年生 ~ 年生 初級 教師 初級												
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ モンゴル 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力												
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験3年 理由: 即戦力が求められるため												
概況	気候 (大陸性気候) 気温 (+30 ~ -30 ℃位) 電気 (☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話 (☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道 (☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)												

要請番号(JL 058 - 06 - 0 - 11)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ベトナム	職種 デザイン (コード 675)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	指導科目		
	(現地公用語[ベトナム 語]) THIET KE CONG NGHIEP		
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1 18年度2 次隊	
		2 18年度3 次隊	
		3 19年度1 次隊	
		年 月 から	
大分類: 鉱工業		分野: 成長を支える人材育成	
中・小分類: 工業一般		課題: 人材育成機関の強化	
プログラム名: 高等教育支援プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 商業省 (現地公用語) Bo Cong Nghiep		
	2) 配属先名 (日本語) ナムディン工業専門学校 (現地公用語) Truong Cao Dang Cong Nghiep Nam Dinh		
	3) 配属先所在地 首都(ハノイ市)から 南 方向 90 Km ナムディン省ヴァン県リエンバオ町 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は各国の工場が立ち並ぶ地域に立地し、①電気・電子工学科②衣料・服飾学科③機械工学科④経済・会計⑤情報通信工学科(IT)の5学科から成る1956年に設立された工業大学校で職業訓練的な要素が大きい。職員数167名中、うち講師110名(30%が修士号または博士号)。学生数は5000人、短期コース2000人、2010年までに大学校キャンパスの20ヘクタール拡大工事が完了予定であり、更なる学生増が見込まれている。年間予算は32万米ドル(3500万円)。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、工業デザイン(インダストリアルデザイン)に関する技術を持った講師不足の状況にあり、近代的工業デザイン用機材を効果的な利用促進と日本の勤務姿勢を学びたいとの意向からボランティアを要請した。		
	2) 期待される具体的業務内容 コンピュータ室において、同僚教師1名とともに以下の業務を担当する。 1. 工業製品デザインに関する1コマ45分、学生30名の授業を同僚と協力して週に14~16時間担当する。 2. 工業美術教授方法、実習カリキュラムに関する同僚教師への助言。 3. 実習用機材導入のための助言。 4. 他スタッフとの意見・情報交換。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ室、学生用コンピュータ25台(Window XP、ソフトAutoCAD)、教師用コンピュータ1台 プロジェクター、CADプリンター、図書館		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 工業デザイン担当講師1名 学生(高校卒業後の学生及び就職している夜間学生)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ ベトナム 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (工業デザイン) 理由: 教師として必要なため。 ・ 実務経験2年 理由: 即戦力を求められているため。		
概況	気候(亜熱帯気候) 気温(9-35 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 227 - 06 - 0 - 09)		☐ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目 (コード 675)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ガーナ	職種 デザイン	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月	
	指導科目 (現地公用語[英 語]) Furniture Design			派遣希望時期
				JOCV SV/短期等
			1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	
大分類: 鉱工業		分野: 教育		
中・小分類: 工業一般		課題: 産業人材育成		
プログラム名: 技術職業教育訓練支援				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国土森林鉱山省 (現地公用語) Ministry of Lands, Forestry and Mines			
	2) 配属先名 (日本語) 木材産業訓練センター (現地公用語) Wood Industries Training Centre			
	3) 配属先所在地 首都(アクラ)から 北西 方向 300 Km アシャンティ州 エジス 主要都市(クマシ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.9時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 木材製品(家具中心)製作を指導し、個人ビジネス開始や輸出振興に貢献するための家具職人養成訓練校。 修業年限は1年で入学生は毎年40名と限定している。理論より実習中心の授業で実践力を要請することを目的とし、併設されているショールームでの注文をOJT授業として取り入れ、製作している。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ガーナでは家具製作直売を行う個人ビジネスが盛んであり、多くの職業訓練校の木工課で家具製作が指導されている。本校の指導レベルも家具製作技術は高いとはいえないものの標準以上のレベルは維持している。個人商店を含めた零細企業では大同小異の類似製品が多く作られて販売されている。木材産業(家具職人)人材養成を専門としている本校はその差別化を図るため他校では指導されない斬新なデザインの家具製作技術及びデザイン指導をしたいことから本要請となった。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. 国内で製作・販売されている家具の調査 2. 学校での実習を通じた家具製作 3. 新しいデザインの提案、試作品製作 4. デザインについての講義(専門的ではなく、新しいデザイン発想のためのヒント・秘訣、柔軟思考の奨めなど日常的な考え方のアドバイスやデザインについての意識改革など)			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル			
	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 木製家具取扱実務経験 理由: 製作・販売を問わず木工家具扱いの経験が必要 ・ 家具デザイン実務経験 理由: 家具デザインの指導が中心業務となるため			
概況	気候(熱帯、サバンナ) 気温(20~35℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)			

要請番号(JL 283 - 06 - 0 - 21)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ザンビア	職種 デザイン (コード 675)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	指導科目		派遣希望時期
	(現地公用語[英 語]) Design		JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から
大分類: 鉱工業		分野: 費用効果の高い保険医療サービス充実	
中・小分類: 工業一般		課題: HIV/エイズ等感染症対策	
プログラム名: HIV/エイズ及び結核対策			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省 (現地公用語) Ministry of Home Affairs		
	2) 配属先名 (日本語) ユースメディア (現地公用語) Youth Media		
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km ルサカ州 ルサカ 主要都市(ルサカ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1995年設立。印刷物(新聞・冊子等)を通して保健・教育に関する正しい知識を提供することにより、青少年の健全な育成を目的としている。エイズ予防啓発(性病予防を含む性教育)として、月刊新聞「Trendsetters」(有料:1万部発行)を18~25歳対象に、「Trendsetter School」(無料:約1100校に5万部発行)を13~19歳対象に配布している。年間予算は約US60万ドルで、SIDAおよびSAIHからの支援を受けている。不定期に他国ボランティアが短期派遣されている。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ユースメディアは質の高い新聞・冊子の作成に取り組んでおり、グラフィックデザイン技術は重要な要素となっている。ザンビアにはコンピュータ使用グラフィックデザイン分野における人材確保が非常に困難なため、知識を有する当国在住外国人や他国ボランティア(いずれも短期)にデザイン業務を依頼しているのが現状である。今月まで派遣されていたSIDA短期ボランティアが任期終了し、次はSPW(Students Partnership Worldwide)ボランティアが約3ヶ月派遣予定であるが、新聞・冊子のデザインを手がけると共にスタッフにグラフィックデザインをしっかり指導出来る人材が強く望まれている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ユースメディアオフィスにおいて 1. 新聞・冊子発行(月刊)に係るグラフィックデザイン(DTP-Desktop Publishing)を担当する (記事レイアウト、配色、絵柄を含む) 2. カウンターパート(約2名)へグラフィックデザインを指導する 3. グラフィックデザインソフトウェアおよび機器に関する助言・指導を行う		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC(Dell Dimension3000), In Design v2.0, Illustrator CS v2, Adobe Photoshop CS v2		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ : 約12名(男女とも20~30代前半、大半が実務経験有) 指導対象者 : 同僚のうち約2名を予定(30歳以下)		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験3年 理由: ・		
概 況	気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 416 - 06 - 0 - 01)		☐ JV⇄SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目 (コード 679)	区 分 (長期のみ)	派遣希望時期
トンガ	職種 珠算	☐ 新規 ☒ 交替 5 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[英 語]) abacus		☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
			1 18年度2 次隊 2 18年度3 次隊 3 19年度1 次隊
大分類: 人的資源		分野: 教育	
中・小分類: 文化		課題: 基礎教育の改善	
プログラム名: 基礎・情操教育改善			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) ハーパイ教育局 初等教育課 (現地公用語) Primary Division, Ha'pai Education Office		
	3) 配属先所在地 首都(ヌクアロファ)から 北 方向 190 Km ハーパイ諸島群リフカ島 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ハーパイ教育局初等教育課は、離島教育の障害を解消し、質の高い教育機会を提供することを目的とする教育省の下部機関で、諸島内の公立小学校19校を管轄している。職員数は5名で、年間予算は、島嶼内の教職員給与を含め約9,300万円となっているが、珠算隊員が使える経費はほとんどなく、消耗品等は支援経費に頼っているのが現状である。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガの初等教育課程(小学校3、4、5年生)には、算数の一環として珠算教育が導入されている。長年の協力の成果として、珠算教育は浸透してきているものの、珠算を教えることのできるトンガ人教師の育成や、児童の学習レベルの向上には未だ時間が必要な状況にある。このため、ハーパイ諸島における珠算教育の定着と、トンガ人教師育成のため、引き続きの派遣要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ハーパイ諸島主要2島にある小学校5校への定期巡回指導(トンガ人教師への指導) ・テストの作成と実施(各学期2回) ・珠算競技会の企画と運営(年1回、10月頃) ・他の珠算教育と連携してカリキュラムの検討や教材の作成など、珠算に関する全般業務		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 そろばん(各クラス人数分)、指導用大そろばん(各クラス1丁)、練習用問題集及び教師用指導書、トラック(オフィサーの小学校巡回用)、コピー機、ファックス機		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: 男性3名、女性2名 巡回先担当教師: 各校1~2名		
		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ トンガ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 珠算3級以上 理由: 教員への指導のため ・ 小型自動二輪以上 理由: 小学校巡回のため		
概 況 地 域	気候(亜熱帯 高温多湿) 気温(15~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 416 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
トンガ	職種 珠算 (コード 679)	☐ 新規 ☒ 交替 3 代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[英 語]) abacus		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 教育	
中・小分類: 文化		課題: 基礎教育の改善	
プログラム名: 基礎・情操教育改善			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) ババウ教育局 初等教育課 (現地公用語) Primary Division, Vava'u Education Office		
	3) 配属先所在地 首都(ヌクアロファ)から 北 方向 320 Km ババウ島ネイアフ 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ババウ教育局は職員数8名で、ババウ諸島内の公立小学校約30校を管轄し、初等教育の運営全般、管轄小学校の監督、調整業務を行っている。トンガ教育省初等教育課の年間予算はT\$750万(約4億2千万円)だが、珠算隊員が使える経費はほとんど無く消耗品等の購入は、支援経費に頼っているのが現状である。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) トンガの初等教育課程(小学校3、4、5年生)には、算数の一環として珠算教育が導入されている。長年の協力の成果として、珠算教育は浸透してきているものの、珠算を教えることのできるトンガ人教師の育成や、児童の学習レベルの向上には未だ時間が必要な状況にある。このため、ババウ島における珠算教育の定着と、トンガ人教師育成のため、引き続きの派遣要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ババウ主要島内で地理的に巡回可能な小学校16校への定期巡回指導(トンガ人教師及び児童) ・定期テストの作成と実施(各学期2回) ・珠算競技会の企画と運営(年1回、10月頃) ・教師を対象にした研修会の実施と希望者への検定試験の実施 ・他の珠算教育と連携してカリキュラムの検討や教材の作成など、珠算に関する全般業務		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 そろばん(各クラス人数分)、指導用大そろばん、練習用問題集及び教師用指導書、コピー機		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 初等教育課責任者: 1名 女性、60代 オフィサー及び事務所: スタッフ7名 20~50代 巡回先教師: 各校1~2名、20~50代、4級程度 巡回先児童: 3~5年生、8級程度		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ トンガ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・珠算1級以上 理由: 教員への指導のため ・小型自動二輪以上 理由: 巡回指導で単車使用するため		
概地域	気候(亜熱帯 高温多湿) 気温(15~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 251 - 06 - 0 - 01)		☐ JV⇔SV振替可		
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	
モザンビーク	職種 図学 (コード 680)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[ポルトガル 語]) Professor de Desenho			JOCV SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 基礎教育		
中・小分類: 文化		課題: 教育へのアクセスの拡大、質の向上		
プログラム名: 中等教育の質の向上プログラム				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio da Educação e Cultura			
	2) 配属先名 (日本語) ビランクーロ中等学校 (現地公用語) Escola Secundaria de Vilankulo			
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から 北東 方向 740 Km イニャンパネ州ビランクーロ市 主要都市(イニャンパネ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 8~10 degreeを対象としており生徒数2,200名程度(6割男子)、一部寮制(2~300名収容)、昼間・夜間の2部制で教員数38名の地域の代表的公立中学校。世銀の支援により新校舎が2006年2月完成予定。教室数16室のうち4室は理科実験などのための特別室。Peace Corp. の英語教師1名配属。年間運営費300万円程度。 将来的には8~12degreeの中高一貫校となることを目指している。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国中学校教育一般の大きな問題として、中学校教員としての教育・訓練を受けた有資格の適格な人材が極めて乏しく特に理科系教員は確保困難であるために十分な中学校教育が行えないことが挙げられる。当面の間この深刻な教員不足をJOCVなどの派遣を求めて補完しつつ、並行的にボランティアとの実際の教育業務を通じて当国教員の養成および質的向上を図ることが要請理由である。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・図学専任教員の一人として実際の昼間部製図授業クラスを受け持ちつつ、必要に応じて現地教員と共同で授業を行うなど、同僚教員のレベルアップを目的とした授業方法についての助言・提案、ノウハウの伝授を行う。 ・月2回実施されている分野別の校内教員間レベルアップミーティング(研修)に参加し、問題点指摘・改善に向けたアイデア提供など、専門的視点から同分野担当教員全体の質的向上・ボトムアップを図る。 ・場合によっては、必要に応じて現地教員を対象にグレイドアップのための研修授業の実施なども求められる。 ・現在実施されている図学授業は基礎レベル。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 図学教室、図学機材など			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員男性2名、25~40歳 専門的教育・訓練を受けておらず、専門教員としての技術レベルは初級程度。			
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ ポルトガル 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (理系) 理由: 教員となるため ・ 実務経験 3 年 理由: 業務内容から最低限必要と判断される			
概 地 況 域	気候(亜熱帯気候) 気温(11~35℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)			

要請番号 (JL 251 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
モザンビーク	職種 図学 (コード 680)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	派遣希望時期
	指導科目 (現地公用語[ポルトガル 語]) Professor de Desenho		☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
			1 18年度2 次隊 2 18年度3 次隊 3 19年度1 次隊
大分類: 人的資源		分野: 基礎教育	
中・小分類: 文化		課題: 教育へのアクセスの拡大、質の向上	
プログラム名: 中等教育の質の向上プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio da Educação e Cultura		
	2) 配属先名 (日本語) モザンビーク島中学校 (現地公用語) Escola Secundaria da Ilha de Mozambique		
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から 北東 方向 2450 Km ナンプラ州モザンビーク島 主要都市(ナンプラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 8~10 degreeを対象としており生徒数640名程度(うち女子30%程度)、朝・昼・夜の3部制で教員数20名程度の島で唯一の公立中学校。教室数7室で年間総予算額135万円程度。 外国からの援助は資金的にも人員的にも特にないが、2004年まで日本人女性英語教師が6年間、個人契約で勤務。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国中学校教育一般の大きな問題として、中学校教員としての教育・訓練を受けた有資格の適格な人材が極めて乏しく特に理数科教員は確保困難であるために十分な中学校教育が行えないことが挙げられる。当面の間この深刻な教員不足をJOCVなどの派遣を求めて補完しつつ、並行的にボランティアとの実際の教育業務を通じて当国教員の養成および質的向上を図ることが要請理由である。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・図学専任教員の一人として実際の製図授業クラスを受け持ちつつ、必要に応じて現地教員と共同で授業を行うなど、同僚教員のレベルアップを目的とした授業方法についての助言・提案、ノウハウの伝授を行う。 ・毎週実施されている分野別の校内教員間レベルアップミーティング(研修)、3ヵ月毎の分野別技能研修に参加し、問題点指摘・改善に向けたアイデア提供など、専門的視点から同分野担当教員全体の質的向上・ボトムアップを図る。 ・場合によっては、必要に応じて現地教員を対象にグレイドアップのための研修授業の実施なども求められる。 ・空き時間を活用した日本文化紹介、スポーツ指導など生徒の新しい知識・経験のための専門分野外活動も期待される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員3名、20~40歳代。 専門的教育・訓練を受けておらず、専門教員としての技能レベルは初級程度。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ ポルトガル 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(理系) 理由: 教員となるため ・実務経験3年 理由: 業務内容から最低限必要と判断される		
概地域	気候(亜熱帯気候) 気温(20~38℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

記入日: 平成17年1月5日

調査者名: 江崎博信

要請番号 (JL 001 - 05 - 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
バングラデシュ	職種 日本語教師 (コード 691)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[ベンガル 語])		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 年度次隊
	Japanese language instructor		派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から
大分類:		分野: 社会分野(基礎生活、人的資源開発)の向上	
中・小分類:		課題: 教育内容の向上(初等教員の再訓練・養成等)及び教育行政の強化	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省クルナ大学 (現地公用語) Ministry of Education University Khulna		
	2) 配属先名 (日本語) 現代言語センター (現地公用語) Modern Language Center, Arts & Humanities School		
	3) 配属先所在地 首都(ダッカ)から 南西 方向 335 Km クルナ 主要都市(クルナ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1987年に基金設立。1991年に授業が開始され5学部約3200人の生徒が学んでいる。教師の数は現在約240名であるが施設等まだ整備は終わっていない為、空席のポストもある。2001年に現代言語センターが開始され英語科、ペルシア語科、そして日本語科がある。日本語科は2003年に公開講座として開始され、男女40名程度が6ヶ月間の基礎コースで学んでいる。ペルシア語はイラン政府の援助(機材、教師)で行われている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語科は非常勤の教師2名で公開講座として行われており、授業時間はそれ程多くない。学科への昇格を進めてダッカ大学等に日本語講師の派遣を要請しているが現状は難しい。よって、JICAに日本語教師の隊員を要請し、派遣されれば非常勤講師及びDirectorと共に、芸術&人類学部 の日本語学科設立に向けた準備を始めたい。また、既存の講座についてはそのまま継続し、発展的に解消する。従って、当面は講座の授業についても非常勤講師と行っていくことになる。		
	2) 期待される具体的業務内容 大学側は英語以外の語学として日本語を重視しており、Directorは学科設立にむけ外部にも働きかけをしてきた経緯もあり、隊員は学科設立に向け、コースデザイン、教材の準備、シラバスの作成、機材のリストアップ等を大学側と一緒にやる。また、既存のコースについては、コースの支援及び授業の担当も行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 機材はほとんどない。新日本語の基礎を利用。国際交流基金からの教材提供あり。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Director (英語科の助教授) 非常勤講師2名(他の学部の助教授、日本語能力検定試験2級程度) 大学生対象の指導		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● ベンガル 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学生に指導する為 ・ 日本語教授法 理由: 学科設立準備の為 ・ 指導経験 理由: 学科設立準備の為		
概況	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(□ 安定 ☒ 不安定 □ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☒ 安定 □ 不安定 □ なし)		

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ 日S)
 短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ☒
--------	---

記入日: 平成17年1月5日

要請番号(JL 001 - 05- 0 - 04)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: 江崎博信		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
バングラデシュ	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月	☐ JOCV	☐ SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[ベンガル 語]) Japanese language instructor			2	18年度3次隊	
大分類:		分野: 社会分野(基礎生活、人的資源開発)の向上		プログラム名: 教育内容向上プログラム		
中・小分類:		課題: 教育内容の向上(初等教員の再訓練・養成等)及び教育行政の強化				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省クルナ大学 (現地公用語) Ministry of Education University Khulna					
	2) 配属先名 (日本語) 現代言語センター (現地公用語) Modern Language Center, Arts & Humanities School					
	3) 配属先所在地 首都(ダッカ)から 南西 方向 335 Km クルナ 主要都市(クルナ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1987年に基金設立。1991年に授業が開始され5学部(約3200人の生徒が学んでいる。教師の数は現在約240名であるが施設等まだ整備は終わっていない為、空席のポストもある。2001年に現代言語センターが開始され英語科、ペルシア語科、そして日本語科がある。日本語科は2003年に公開講座として開始され、男女40名程度が6ヶ月間の基礎コースで学んでいる。ペルシア語はイラン政府の援助(機材、教師)で行われている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語科は非常勤の教師2名で公開講座として行われており、授業時間はそれ程多くない。学科への昇格を進めてダッカ大学等に日本語講師の派遣を要請しているが現状は難しい。よって、JICAに日本語教師の隊員を要請し、派遣されれば非常勤講師及びDirectorと共に、芸術&人類学部 の日本語学科設立に向けた準備を始めたい。また、既存の講座についてはそのまま継続し、発展的に解消する。従って、当面は講座の授業についても非常勤講師と行っていくことになる。					
	2) 期待される具体的業務内容 大学側は英語以外の語学として日本語を重視しており、Directorは学科設立にむけ外部にも働きかけをしてきた経緯もあり、隊員は学科設立に向け、コースデザイン、教材の準備、シラバスの作成、機材のリストアップ等を大学側と一緒にやる。また、既存のコースについては、コースの支援及び授業の担当も行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 機材はほとんどない。新日本語の基礎を利用。国際交流基金からの教材提供あり。					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Director (英語科の助教授) 非常勤講師2名(他の学部の助教授、日本語能力検定試験2級程度) 大学生対象の指導		6) 業務で使用する言語 ☒ ベンガル 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学生に指導する為 ・ 日本語教授法 理由: 学科設立準備の為 ・ 指導経験 理由: 学科設立準備の為					
概況	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)					

要請番号 (JL 013 - 05 - 0 - 21)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[中国 語]) 日本語教師		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類:	分野:	プログラム名:	
中・小分類:	課題:		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 大連市科学技術局 (現地公用語)		
	2) 配属先名 (日本語) 大連市第三十中学 (現地公用語)		
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 東 方向 Km 遼寧省大連市 主要都市(大連市内)までの交通手段及び所要時間(で約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1987年設立の初級中学。生徒数約1,100人。各学年8クラス、計24クラスあり、2001年からは各学年2クラスずつ計6クラスに日本語と英語を学ぶ双語班が開設された。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 大連は日本語教育が比較的盛んな地域であるが、その中でも同校は双語班の開設に取り組み、語学教育に力を入れている。初代隊員の派遣を通じ同校での活動の基礎は出来ており、引き続き要請を行うことにより中国人教師のレベルアップを図るとともにコミュニケーションを行えるレベルの日本語教育を実施したいとしている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 学生に対する授業(会話・聴解など) 約12コマ/週 2. 中国人教師に対するアドバイス・指導。日本語運用能力の向上を目指す。 3. 日本事情・日本文化の紹介。 4. 課外活動・スピーチ指導等への協力。 5. 大連市内の日本語教師研修会等への協力。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ラジカセ、印刷機(コピー機はない)。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人日本語教師: 2名・30歳代、1名はJICA青年招聘で赴日経験あり。 学生: 中学1~3年。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 中国 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 短大卒 理由: 中国の高校で教壇に立つための必須条件 ・ 日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件		
概況	気候(寒冷) 気温(-12~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 013 - 05 - 1 - 08)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: 鈴木 日和		
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
中華人民共 和国	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[中国 語])			2	18年度3次隊	
大分類: 人的資源	分野: 相互理解の増進	プログラム名: 両国民の直接交流支援				
中・小分類: 教育	課題: なし					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 江西省科学技術庁 (現地公用語)					
	2) 配属先名 (日本語) 江西農業大学商学院 (現地公用語)					
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南 方向 Km 江西省 南昌市 郊外 主要都市(南昌)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 江西農業大学と江西亨通房地產開発会社の共同事業として2001年設立された、農業大学内にある公的機関。南昌の郊外にある経済開発区に位置し、4年制本科の5学部と20学科がある。在校生3200名、教職員230名。キャンパスは広く、設備もよく整っている。外国語学科は学生540名、教師36名、外国人教師(米国)2名。日本語科は06年9月に開設予定。60名2クラスを募集する。中国人教師3名。現在は日本語専攻がなく、英語専攻の双語(英語と同様に第一外国語として)の日本語クラスがある。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 06年9月から日本語科の開設を予定している。商学部なので、ビジネス面で競争力ある人材を輩出するため、2年生の後半からは仏語が英語を選択し、双語教育(二つの外国語を同時に第一言語として修得させる教育)を行なう方針である。また、ビジネス面で競争力ある人材を育成するため学校独自の教材を開発していきたいと考えている。日本語教師のうち2名は非常に日本語能力が高く、教授経験や通訳経験の豊富な教師であるが、協力隊員は学校独自の教材開発やビジネスに強い日本語人材の育成を行うとともに、今後採用される新卒教師の育成への協力が求められる。					
	2) 期待される具体的業務内容 *授業数や内容に関しては毎年毎学期多少の変更が見込まれる。 1 日本語科の授業 (週のコマ数約10コマ 1コマ=50分)・会話、聴解、日本概況、日本文化、日本文学のどれかを担当 2 英語クラスの日本語(両言語を第一言語として) :「標準日本語」1~4(1学期で1冊終了)*卒業時の目標は日本語能力2級合格 3 若手教師の指導 4 日本語学科カリキュラム整備、教科書選定に役立つ情報の提供 5 教科書編纂への協力。(主に、例文日本語のチェックなど。) 6 学生の課外活動 7 南昌市内他校との交流促進活動					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室、パソコン、コピー(コピー代は学校負担)、ラジカセ、ビデオデッキ など					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名・24歳 大卒 女性 (上海で勉強中) ・副主任 40代 男性 大卒 教師歴12年 通訳の経験も豊富 ・副院長 50代 男性 東京大学大学院卒 教師歴15年 翻訳家でもある 指導対象 大学生 19~22歳程度 (ゼロ初級~)		6) 業務で使用する言語 ☒ 中国 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 理由: 大学で活動するために不可欠な条件 ・日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をするうえで必要。					
概況	気候(内陸性) 気温(-3~38 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)					

要請番号(JL 013 - 05- 1 - 16)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
中華人民共 和国	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	派遣希望時期
	指導科目 (現地公用語[中国 語])		☐ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[中国 語])		1 18 年度 2 次隊 2 18 年度 3 次隊 3 19 年度 1 次隊
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進	
中・小分類: 教育		課題: なし	
プログラム名: 両国民の直接交流支援			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 山東省科学技術庁 (現地公用語)		
	2) 配属先名 (日本語) 威海職業学院 (現地公用語)		
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南東 方向 Km 山東省 威海市 郊外 主要都市(威海市 市街地)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2000年に設立された全日制普通高等専科学校(3年制短大で中等専門学校も併設)。8学部32学科があり、教職員数800名、在校生9000名。全校卒業生の就職率は90%以上。応用外国語学部は、学生900名、教職員61名で、経済英語、経済韓国語、ビジネス日本語科の3つの学科がある。LL教室7室など、施設は整っているが、日本の図書や資料は不足。豪州や韓国の学校からの留学生がいる。2000年よりKOICAから韓国語教師が3代入っている。英語の外国人教師は今のところ不在。威海市は山口県宇部市と友好提携があるが、特にこの学校には日本の学校との提携はない。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ビジネス日本語科は2004年9月に開設されたばかりで、1学年のみ150名、3クラス。教師は6名で、全て大学新卒。教授経験や日本語教育学習歴、赴日経験等はなく、カリキュラムも教材選定も、この6名が手探りで相談しながら行っている。誰も教えることに自信がなく、不安を抱えながらも、一生懸命学生と向き合っている。隊員と勉強会や授業見学などをし、レベルアップしたいと意欲を持っている。学生も真面目で素直である。3年時で2級合格を目標に会話能力を重点的に伸ばし、卒業時には日本企業就職、大学進学等を目標としている。まずは中国人教師の育成や全体のカリキュラム整備に重点を置くために、隊員の協力が必要とされている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1 1年生(約150名3クラス)及び、2年生(約150名3クラス)の会話: 週12時間 * 会話は1クラスを2つに分けて実施も可 2 2年生後期からの作文: 週 2時間 (合計週 約14時間) * 学期により、担当授業数や科目は多少変わります。 2 勉強会、授業見学などを行い、中国人教師のレベルアップを図る。 3 カリキュラム整備、教科書選定に役立つ情報の提供やアドバイス。 4 学生の課外活動への協力(日本文化講座、映画館紹介、留学生との交流会、スピーチコンクールなど適宜) 5 威海市内の日本語関係者の交流促進(日本企業、留学生、日本人教師が地域にいる。) 教材: 中国人教師は基礎日本語の授業で「標準日本語」を、会話の授業で「放心説日語 日語会話基礎編」を、聴解では「初級日語聴解教程」を使用。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室(7室)、コピー(コピー代は学校負担)、テープレコーダー、コンピューター(日本語可)、		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 6名(全員女性、04年9月大卒、教授歴1年程度、訪日経験なし、レベルは高くない) 06年度までにあと4名を雇用するとのこと。(性別年齢等詳細は不明) 指導対象: 高校卒業後の学生 19~22歳程度 1クラス約50名 ゼロ初級~ 高校までは英語を学んでいた。ほとんどが山東省出身。		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ 中国 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 同僚教師と同等の学歴が必要。 ・ 日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をするうえで必要。		
概 況	気候(夏は温暖、冬は寒冷) 気温(-8~35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)
短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年6月24日

調査者名: 鈴木 日和

要請番号 (JL 013 - 05 - 1 - 17)		○ JV⇄SV振替可		
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	
中華人民共 和国	職種 日本語教師 (コード 691)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	
	指導科目			
	(現地公用語[中国 語])			
	日語教師			
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進		
中・小分類: 教育		課題: なし		
プログラム名: 両国民の直接交流支援				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 山東省科学技術庁 (現地公用語)			
	2) 配属先名 (日本語) 山東大学威海分校翻訳学院 (現地公用語)			
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南東 方向 Km 山東省 威海市 主要都市()までの交通手段及び所要時間(で約 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 本校は済南市にある国家重点校で1984年に設立された。11学部、32科、大学院等があり、在校生12000名、教職員800名。翻訳学院の名称は、本校に外国語学院があるため、二つを区別するため付けたもの。学部は英語科と日本語科からなる。英語科の外国人教師は5名。韓国語は教師(うち韓国人8名)、学生、留学生、研究生等が多く、独自に一つの学部を設立し、独立している。日本語科は1995年に専科が開設、2000年から本科となった。現在学生数214名(1年生64、2年生61、3年生60、4年生29)、教員数10名(うち日本人3)。06年から北海学園と交換留学を始める予定。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語能力試験1級の合格率は高いが、学校の外で日本人とコミュニケーションをする機会が少ないため、会話力が低く、将来仕事で使えるようにするためにも、自然な会話力を伸ばし、言語の文化背景を教えることが期待されている。また、威海市内には日本人教師や留学生、日本企業が比較的多いため、そうした人達と連携をとり、交流会をするなど学生にもっと様々なチャンスを提供し、いずれは学生達が自発的に交流を継続できるように、パイプ役となって働きかけることが期待される。			
	2) 期待される具体的業務内容 1 1～2年生(2クラス30名ずつ)の会話、ヒヤリング、1年生日本文化 : 週合計12～14時間 * 学期により、担当授業数や科目は多少変わります。 2 学生の課外活動への協力: 今は特に行なわれていないが、学生達が主体的、自発的に企画出来るよう導く。 (ビデオ上映会、留学生との交流会、スピーチコンクールなど適宜、学生の企画を促し、支援、協力する。) 3 威海市内の日本人との交流促進(日本企業、留学生、日本人教師が地域にいる。) 4 威海市内の日本語教育関係者との連携促進。 5 中国人同僚教師の質問等に対応する。 教材: 1～2年生精読「標準日本語」、3～4年生精読「日語」			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室(KOICAの寄贈)、コピー(コピー代は少数の場合は学校負担だが、多くなる場合は学生負担とする)、テレビ、ビデオデッキ、ラジカセ、コンピューター(日本語可)			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 中国人教師7名(男性2、女性5)。うち20～30代若手が2名、残る5名は経験が比較的に長い。4名が日本留学経験者、1名が大学院在学中。 日本人教師(個人契約)3名。 指導対象: 高卒19～22歳位(ゼロ初級)1学年60名2クラス。(山東省出身が大半)			
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ● 中国 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 同僚教師と同等の学歴が必要。 ・ 日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をするうえで必要。			
概 況 地 域	気候(夏は温暖、冬は寒冷) 気温(-8～35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)			

記入日: 平成17年6月28日

調査者名: 西川 知子

要請番号(JL 013 - 05 - 1 - 18)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 691)	● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[中国 語])		派遣希望時期
	(現地公用語[中国 語])		派遣希望時期
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進	
中・小分類: 教育		課題: なし	
プログラム名: 両国民の直接交流支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 寧夏回族自治区科学技術庁 (現地公用語)		
	2) 配属先名 (日本語) 西北第二民族学院 (現地公用語)		
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 西 方向 Km 寧夏回族自治区 銀川市 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国家民族事務委員会直属の民族高等教育機関で全学生数約8000名、蘭州にある西北第一民族学院とは姉妹校でもある。外国語学院の学生は約700名で専攻はすべて英語であるが、第二外国語として日本語・ドイツ語・フランス語を学んでいる。現在日本語を学んでいる学生は約400名。外国人教師はアメリカ人英語教師が5名在籍している。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在外国語学院には日本語科はなく、日本語の授業は英語科の学生に対する第二外国語として、また旅行科の学生に対する旅遊日本語の授業が2名の中国人教師によって行われていて、日本人の教師はいない。中国人教師は皆日本への留学経験があるが、日本語の正しい表現や日本語らしい日本語について不安を持ちながら授業をしている状態である。また、同校は2006年9月より日本語本科設立の申請をしており、本科が始まれば、中国人教師への日本語指導やカリキュラム整備等についても、日本語教師隊員の協力を要請している。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 英語科の学生に対する第二外国語の日本語の授業を週6コマ、旅行科の学生に対する旅遊日本語の授業を週2コマ程度担当する。 2. 中国人日本語教師のレベルアップに協力する。 3. 日本語本科が設立された場合は、本科生に対して「会話」や「日本文化」の授業を担当する他に、カリキュラム整備や教科書の選定などに協力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テレビ、ビデオデッキ、ラジカセ、OHP、LL教室、パソコンなど		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 40代の男性日本語教師1名と女性日本語教師1名、2名とも大学院卒で修士、数年間の赴日留学経験がある。 (本科が設立されれば、同僚教師は増える予定)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 中国 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 同僚教師と同等の学歴が必要。 ・ 日本語教授法 理由: 日本語の授業、同僚教師の指導のために必要		
概況	気候(内陸性) 気温(-4~38 ℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし) 電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)		

要請番号(JL 013 - 05- 1 - 21)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	指導科目		派遣希望時期
	(現地公用語[中 語])		JOCV 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 SV/短期等 年 月 から
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進	
中・小分類: 教育		課題: なし	
プログラム名: 両国民の直接交流支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 湖北省科学技術庁 (現地公用語)		
	2) 配属先名 (日本語) 湖北開放職業学院 (現地公用語)		
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南西 方向 Km 武漢市内 主要都市(武漢)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 湖北省の省都武漢市にある。1984年設立の専科大学だった湖北函授大学が2002年に湖北開放職業学院と改名した。理系は3専門、文系は10専門ある。学生数7000名、教職員数約600名。学生は湖北省出身者が60%だが、全国各地から集まる。卒業生は、企業に就職するものがほとんどである。日本語専攻は2004年9月に設立された。1年生46名、2年生41名、各1クラスずつ。中国人教師3名(専任講師2名、非常勤講師1名)でスタートした。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 湖北省第一の都市である武漢市は日系企業の進出が増加傾向にあるが、日本語専科の大学が少なく、日本語人材の需要は高い。そのような背景のもと04年9月に同学院に日本語専科が新設された。専任教師2名の中国人教師の教授経験が浅いことから、若手教師への日本語能力、及び教授のレベルアップにおけるアドバイス等が期待されている。会話、聴解、標準日本語、ビジネス日本語の4科目のうち、隊員は会話と聴解を担当予定。		
	2) 期待される具体的業務内容 * 授業数や内容に関しては学期により多少の変更が見込まれる。 1 日本語科の授業(週のコマ数約15コマ 1コマ=45分) のうち、会話と聴解(「標準日本語」使用) 週8~12時間 2 学生の課外活動への協力(日本語コーナーや日本文化の公開講座などの交流活動) 3 教科書選定へのアドバイス。 4 カリキュラム作成に係わるアドバイス。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室、DVDプレーヤー、テープレコーダー、パソコン、印刷機		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 20代 女性 院卒(日本語専攻) 教授歴2年程度 30代 女性 大卒(日本語専攻) 教授歴2か月程度 60代 男性 院卒(日本語専攻) 教授歴35年程度 指導対象 大学生 19~22歳程度 (ゼロ初級~)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 中国 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学で活動するために不可欠な条件 ・ 日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をするうえで必要。		
概況	気候(内陸性) 気温(-1~40 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

記入日: 平成17年12月23日

調査者名: 今間 智子

要請番号(JL 013 - 06- 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間				
中華人民共和 国	職種 日本語教師 (コード 691)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月				
	指導科目			派遣希望時期			
	(現地公用語[中国 語]) 日語教師			<table border="1"> <tr> <th>JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進					
中・小分類: 教育		課題: なし					
プログラム名: 両国民の直接交流支援							
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 新疆ウイグル族自治区科技厅 (現地公用語)						
	2) 配属先名 (日本語) 新疆大学 (現地公用語)						
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 北西 方向 Km ウルムチ市内 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は新疆大学外国語学院となる。教員数114名、学生数600名であり、現在日本語は大学専科(3年制)となっているが、2007年に本科(4年制)昇格予定。更に10年後には日本語科の大学院開設を目標としている。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地において観光や貿易の分野で日本語の潜在的需要は大きい、現在ウルムチ市内で日本語教育を行っている高等教育機関は3校しかなく、その中心が同大学となっている。同大学は学校の特色として日本語教育に力を入れており、中国人教師の日本語能力も高いものの、本科設立に向けて隊員の助言が求められている。また、同地域の各教育機関との日本語教育のネットワーク作りを目指した活動も期待されている。						
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語科の授業(ヒアリング、会話、文化紹介、作文、精読を週に12~16コマ) 2. コースデザイン、教科書選定への助言 3. 若手教師の指導、スキルアップ 4. 日本語に関する課外活動の企画・サポートなど 5. ウルムチ市内にある他の日本語教育機関との交流促進活動						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室、コピー機、VCDデッキ、DVDデッキ、ビデオデッキ、ラジカセ						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名: 30代女性(日本の大学の修士課程卒、教師歴5年)、 30代女性(大卒、教師歴8年、日本に1年研修) 20代女性(大卒、教師歴2年) 指導対象: 大学生 19~22歳程度 (ゼロ初級~)						
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ● 中国語 語(レベル:) ○ 語(レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学で活動する為に不可欠な条件 ・ 日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をする上で必要						
概 況 地 域	気候(乾燥・寒冷) 気温(-20~35 ℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし) 電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)						

要請番号(JL 013 - 06 - 0 - 04)		☐ JV⇄SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間				
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月				
	指導科目			派遣希望時期			
	(現地公用語[中国 語])			<table border="1"> <tr> <th>JOCV</th> <th>SV/短期等</th> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類: 人的資源	分野: 相互理解の増進	プログラム名: 両国民の直接交流支援					
中・小分類: 教育	課題: なし						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 湖北省科学技術庁 (現地公用語)						
	2) 配属先名 (日本語) 襄樊学院 (現地公用語)						
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南西 方向 Km 襄樊市(じょうはん) 主要都市(武漢)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 学院全体の学生数11000名、専任教師数750名、16の学科と45の専門に分かれている。1998年より第二外国語での日本語の授業を開始しており、2004年に日本語の本科(4年制)を開設、2005年は50名(2クラス)の学生が在籍。外国語学科は日本語以外に英語科(学生数100名)があり、第二外国語でフランス語を教えている。						
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本人と交流する機会の殆ど無い地方都市であるため、学生に対して異文化理解の姿勢・国際感覚を身に付けるよう日本語の授業を通じた交流を進めることが期待されている。日本語教師6名のうち専任講師は若手の3名であり全員大学の専門で日本語を学んだため運用能力はある程度高いものの、学科の立ち上げ期であることから隊員からの助言を必要としている。隊員は学生に対し文化紹介・ビジネスマナーを含めた授業を行うとともに、若手教師育成への協力も期待されている。						
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語科の授業 会話、作文、日本の文化及び文学紹介 週に14~16コマ(1コマ45分) 2. 日本語教師の学習会 3. コースデザイン、教科書選定の助言 4. 日本語に関する課外活動の企画・サポートなど						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室、コピー機、VCDデッキ、DVDデッキ、ビデオデッキ、ラジカセ						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名: 20代女性1名 大卒(日本語専攻) 教師歴6年 20代男性2名 大卒(日本語専攻) 教師歴1年 指導対象: 大学生 18~22歳程度 (ゼロ初級~)						
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 中国語 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学で活動する為に不可欠な条件 ・ 日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をする上で必要						
概地域況	気候(内陸性) 気温(-3~37 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)						

要請番号 (JL 013 - 06 - 0 - 05)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
中華人民共和 国	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	派遣希望時期
	指導科目		☒ 2 年
	(現地公用語[中国 語])		☐ 1 年
	日語教師		☐ ヶ月
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進	
中・小分類: 教育		課題: なし	
プログラム名: 両国民の直接交流支援			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 湖北省科学技術庁 (現地公用語)		
	2) 配属先名 (日本語) ユン陽師範高等専科学校 (現地公用語)		
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南西 方向 Km 丹江口市 主要都市(武漢)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 省附属の高等専門学校であり、教師育成の教育機関。在籍学生数は7000名、教職員数612名、11の学部と30の専門に分 かれている。英語専攻の第二外国語として2000年より日本語の授業を開始(3,4年生のみ。週に1時間半のみ。対象学生は 約1000名)。近年中に日本語専攻を開設する方向で進めている。募集は30名で3年制。		
	5) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本人と交流する機会の殆ど無い地方都市であるため、学生に対して異文化理解の姿勢・国際感覚を身に付けるよう日 本語の授業を通じた交流を進めることが期待されている。日本語教師は若手の3名であり、3名とも大学で専門に日本語を 学んでいるが、日本語能力はあまり高くなく、日本人との交流経験も少ないため、スキルアップを望んでいる。隊員は、学生 への日本語教育を行うとともに、若手教師の育成も求められている。		
要 請 概 要	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語科の授業 ヒアリング、会話、精読、作文、日本文化紹介 週に10コマ程度(1コマ45分) 2. 日本語教師の学習会 3. 学生との交流による日本理解の促進 4. 日本語に関する課外活動の企画・サポートなど		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室、コピー機、VCDデッキ、DVDデッキ、ビデオデッキ、ラジカセ		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 3名: 20代女性 大卒 教師歴1年 20代男性2名 大卒 教師歴2年、教師歴1年 指導対象 18歳~22歳		6) 業務で使用する言語 ☒ 中国語 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、 レベルを入力
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 高等教育機関で活動する為に不可欠な条件 ・ 日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をする上で必要		
概 況 地 域	気候(内陸性) 気温(-1~39 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 013 - 06- 0 - 06)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[中国 語]) 日語教師		
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1 18年度2 次隊	
		2 18年度3 次隊	
		3 19年度1 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進	
中・小分類: 教育		課題: なし	
プログラム名: 両国民の直接交流支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 湖南省科学技術庁 (現地公用語)		
	2) 配属先名 (日本語) 長沙大学 (現地公用語)		
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 南西 方向 Km 長沙市内 主要都市()までの交通手段及び所要時間(で約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 大学全体の学生数13500名、教師数630名、16の学科に分かれている。2003年より日本語本科での日本語の授業を開始しており、現在1から3年生まで470名の学生が在籍。韓国、アメリカ、イギリス、ニュージーランド各国と交流がある。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 近年同地域において日本語人材の需要が高まっていることから同大学も日本語教育に力を入れて取り組んでいる。日本語教師8名のうち6名は20,30代であり、専門で日本語を学んでいるため日本語能力は高いものの、更なるブラッシュアップを望んでいる。隊員は、学生への日本語教育を行うとともに、若手教師の育成も求められている。また、同地域では2004年から省内の日本語教育機関が連携し、湖南省日本語コンクールを開催しており、地域の日本語教育従事者の連携を深め、技術や情報の共有をはかる活動が期待される。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語科の授業 会話、作文 週に14~16コマ(1コマ45分) 2. 地域的な活動(他の隊員や他の日本語教育機関との連携) ・湖南省日本語コンクールの実行委員会への参加、運営に協力する。 ・南方日本語ネットワーク(南部地域の隊員が運営するHP)の管理運営などに関わる。 3. コースデザイン、教科書選定の助言 4. 校内における日本語に関する課外活動の企画・サポートなど		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LLマルチメディア教室、コピー機、VCDデッキ、DVDデッキ、ビデオデッキ、ラジカセ、パソコン		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人教師8名: 20代2名 30代4名 40代2名 ...大卒(日本語専攻) 日本人教師3名: 20代2名 50代1名 指導対象: 大学生 18~22歳程度 (ゼロ初級~)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 中国語 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 理由: 大学で活動する為に不可欠な条件 ・日本語教授法 理由: 日本語専攻の授業をする上で必要		
概況	気候(内陸性) 気温(-3~37 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 013 - 06 - 0 - 07)		☐ JV⇔SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間		
中華人民共和 国	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月		
	指導科目			派遣希望時期	
	(現地公用語[中国 語]) 日語教師			JOCV SV/短期等	
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進			
中・小分類: 教育		課題: なし			
プログラム名: 両国民の直接交流支援					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 内蒙古自治区科学技術庁 (現地公用語)				
	2) 配属先名 (日本語) 赤峰第七中学 (現地公用語)				
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 北東 方向 Km 赤峰市 主要都市(北京)までの交通手段及び所要時間(列車 で約 8 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1964年設立の中高一貫校。学生数1800名。日本語教育は80年代初頭から行なわれており、同校の特色として市からの指定を受けるとともに自治区レベルの日本語教師研修会の主催校になるなど自治区の日本語教育の中心的役割を果たしている。現在は各学年1~2クラス、約280名の学生が日本語を学んでいる。現在は中高共に日本語クラスがあるが、今後は高校のみに開設の計画。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 赤峰市が位置する内蒙古自治区東部は元来日本語教育の盛んな地域であったが、英語教育の普及に合わせ日本語は年々減少傾向にある。同校は中でも長年にわたり安定的に日本語教育を行なってきたが、日本人との交流がほとんどないこの地にあつて3名いる日本語教師は仕事に積極的に取り組むもののレベルは高くない。隊員は学生への授業を行なうとともに、若手を中心に教師のレベルアップを図り、同校の日本語教育の質の向上を目指す。また授業や課外活動を通じた日本文化の紹介と、日本に対する理解の促進が期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 学生に対する授業(会話・聴解など): 週8~10コマ 2. 中国人教師に対するアドバイス 3. 課外活動等を通じた学生との交流。日本理解促進。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、ラジカセ、LL教室、コピー機など				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人日本語教師: 男1名(40代)、女2名(20・40代)。大卒。				
		6) 業務で使用する言語 ☒ 中国 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 短大卒 理由: 中国の高校で活動するのに必須。 ・ 日本語教授法 理由: 日本語を教えるために必須。				
概 況 地	気候(寒冷) 気温(30~-28 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)				

要請番号 (JL 013 - 06 - 0 - 08)		☐ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
中華人民共和 国	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 3 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[中国 語]) 日語教師			JOCV SV/短期等
			1 18年度2 次隊 2 18年度3 次隊 3 19年度1 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 相互理解の増進		
中・小分類: 教育		課題: なし		
プログラム名: 両国民の直接交流支援				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 遼寧省科学技術庁 (現地公用語)			
	2) 配属先名 (日本語) 瀋陽市朝鮮族第一中学 (現地公用語)			
	3) 配属先所在地 首都(北京)から 北東 方向 Km 瀋陽市内 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1948年設立の朝鮮族の高校。進学率90%以上の進学校で同省内の朝鮮族中学においても中心的な学校となっている。全校生徒数約1100名。日本語は各学年2クラス、約350人が学び、また05年度より漢族対象の実験クラスも開設されている。他に韓国からの留学生約120名がいる。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 6名いる中国人日本語教師はこれまでの隊員とも積極的に交流し、日本語能力の向上に努めてきた。日本語の会話力はある程度高いレベルにあるが、発音や表現に不安を残すとともに、さらなる日本語及び教授法の学習を通じ同校の日本語教育の向上を目指したいとしている。隊員はこれら中国人教師に対し助言を行うとともに、学生に対する授業を担当する。学生への授業では会話を中心に発音や作文などの指導を行い、また日本文化の紹介などを通じた異文化理解を促す役目も期待されている。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. 学生に対する授業: 会話・作文など週7~10コマ(1・2年生x2クラス、漢族実験クラス1クラス) 2. 中国人教師に対する助言・教授法の紹介・日本理解のサポートなど。 3. 課外活動のサポート: 週1回 4. 地域活動: 任地では省の教育学院や日本人教師会など日本語教育に関連する活動が活発であり、隊員はこれらへの協力を求められる場合がある。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、ラジカセ、コピー機、テレビ、プロジェクターなど			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人教師6名: 全て女性。30~50代。大学日本語専攻卒業。 日本語能力試験2級以上。 学生: 16~19歳。漢族実験クラスを除き初級中学(日本の中学に相当)で日本語を3年間学習。			
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ 中国 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 短大卒 理由: 中国の高校で活動するのに必須。 ・ 日本語教授法 理由: 日本語を教えるために必須。			
概 地 況 域	気候(寒冷) 気温(-22~33 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)			

要請番号 (JL 016 - 05 - 1 - 02)		○ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目 (コード 691)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
インド	職種 日本語教師	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[英 語])		1 18年度2次隊 2 年度次隊 3 年度次隊
	Japanese Language Instructor		年 月 から
大分類: 人的資源		分野:	
中・小分類: 教育		課題:	
プログラム名:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 人材開発省 (現地公用語) Ministry of Human Resources Development		
	2) 配属先名 (日本語) ビシュバ・バーラティ大学 (現地公用語) Department of Japanese Studies, Visva Bharati University		
	3) 配属先所在地 首都(デリー)から 東 方向 Km 西ベンガル州シャーンティニクタン 主要都市(コルカタ)までの交通手段及び所要時間(列車 で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 芸術分野で有名な国立大学である。4年間の学士課程が午前6:30~午後12:30に開講されており、1年間の予備課程に17~20名、1年生に16~20名、2年生に10~15名、3年生に10~20名の学生がいる。この外、他学科の学生のために、午後3:30~5:00に2年間の初級コースと1年間の中級コースが設けられている。また、付属の高校でも高校2年生および3年生を対象に日本語の授業がある。各学年2クラスで1クラス40名程度。日本語学科の年間予算約1,700,000円。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドで数少ない日本語の学士課程を持った大学として、日本語教育に貢献する人材を輩出する可能性を持った教育機関である。修士課程も設けたいと希望しているが、教師数が追いつかず開設できていない。最近雇用された20歳代のインド人男性教師(日本語学習経験7年、日本語教授経験8ヵ月、日本語能力試験2級保有)と、近い将来雇用される予定の30歳代のインド人男性教師のレベルアップを図るとともに、基礎をしっかりとさせるため、初級レベルをきちんと教えることが期待されている。教師の指導よりも、一教師として授業を実施し、学生を育成することが中心となる。1クラス的人数は30~40人なので、クラスをコントロールする能力が求められる。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 他学科学生を対象とした公開講座(初級、中級コース)及び付属の高校にて初級レベルの日本語教育を行う。 2. 現地若手教師の日本語能力および指導能力の改善。 3. コルカタにある他の日本語教育機関から、教授法改善のための協力を求められることもあり得る。 4. カリキュラムやシラバスに対するへの助言。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 初級レベル-初級日本語(東京外国語大学)、中級レベル-中級日本語(東京外国語大学)および日本語セカンドステップ、学士課程2年生以上-上級日本語(東京外国語大学)や日本語の表現技術等。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル インド人日本語教師3名(20代~50代)、日本人教師1名(40代、日本語教授法学習経験なし、日本語教授経験6年程度)、インド人講師3名の日本語学習経験は4~7年、日本語教授経験8ヵ月~16年。指導対象者は隊員のレベルによるが、高校2年生、3年生、および他学科学生のための初級コースが予定されている。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 指導対象者が大学生であるため。 ・ 日本語教授法 理由: 学生への指導に必要であるため。 ・ 実務経験 理由: 教師への指導に必要であるため。		
概況	気候() 気温(10~38 ℃位) 電気(□ 安定 ☑ 不安定 □ なし) 電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(□ 安定 □ 不安定 ☑ なし)		

要請番号(JL 019 - 05- 1 - 05)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
インドネシア	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	指導科目		派遣希望時期
	(現地公用語[インドネシア 語]) Instruktur Bahasa Jepang		☐ JOCV ☐ SV/短期等
大分類:	分野:	プログラム名: 文化的協力による人材育成	
中・小分類:	課題:		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家教育省 (現地公用語) Departmen Pendidikan National		
	2) 配属先名 (日本語) シンガラジャ教育大学 (現地公用語) Universitas IKIP Singaraja		
	3) 配属先所在地 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1000 Km バリ州シンガラジャ 主要都市(デンパサール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シンガラジャ教育大学は優良な教育人材の輩出がその主な目的となっており、同大の語学芸術学部において3年制日本語プログラム開設に向け準備が進められている。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学は教員育成のための高等教育機関であり、優良な学生の輩出が優良な教育人材の育成につながる。経験の浅い講師が多いことから、現地講師とともに実際の授業を担当することで日本語教授法の向上を図る。また勉強会の開催等による教授能力向上の支援や効率的な日本語プログラムが運営されるよう支援が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 現地講師とともに学生に対する講義を担当する。 2. 現地講師とともに効果的な日本語プログラム運営がなされるよう、状況にあわせた授業運営への協力を行なう。 3. 経験の浅い講師を対象に勉強会等を行なうことでの日本語教授技術向上を支援する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教材、機材はまだほとんどそろっていない。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本語講師6名(20代前半から30代前半 (2名は日本語検定1級程度でレベルは非常に高く、4名が新規採用講師)		
	6) 業務で使用する言語 ☒ インドネシア 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 日本語教授法 理由: 外国語としての日本語教育の専門性が必要 ・ 学士 理由: 高等教育機関であるため ・ 実務経験3年以上 理由: 高等教育機関であり高い教授能力が求められる。		
概 況 域	気候(熱帯雨林) 気温(30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

記入日: 平成17年12月22日

要請番号(JL 019 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇔SV振替可		調査者名: 野村英史		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
インドネシア	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 5 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目			1	18年度3 次隊	年 月 から
	(現地公用語[インドネシア 語]) INSTRUKTUR BAHASA JEPANG			2	19年度1 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 教育		プログラム名: その他重要な案件		
中・小分類: 教育		課題: 人材育成				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 文化観光省 (現地公用語) DEPARTEMEN KEBUDAYAAN DAN PARIWISATA					
	2) 配属先名 (日本語) メダン観光専門学校 (現地公用語) AKADEMI PARIWISATA MEDAN (AKPAR MEDAN)					
	3) 配属先所在地 首都(ジャカルタ)から 北西 方向 900 Km 北スマトラ州メダン 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 文化観光省下の観光専門学校4校のうちの1校。観光業従事者の育成を目的とし1992年に設立された。3年制で旅行ガイド科、ホテル科、レストラン科、調理科、レストランサービス科を持つ。学生数420名程度。教員数100名程度。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 有数の観光地であるバリやジョグジャカルタを中心としたインドネシア全土(ビンタン島、パタム島、ジャカルタ、メダンなどのホテル・レストラン・旅行代理店等)及びシンガポールなどの近隣諸国を含めた地域での卒業生の就職機会拡大の手段として、日本語・日本文化の知識を習得するための観光日本語プログラムの充実が必要である。そのため、引き続き隊員派遣による支援が求められている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1) 現地講師に対する日本語、日本語教授法の指導。 2) 学生への観光日本語の指導を同僚とともにチームティーチングで実施する。 (接客マナー、日本人の習慣、文化紹介を含む) 3) 現在試験的に導入されている文字指導の継続。 4) 隊員作成の教科書の改訂及びそれに適した教材作成。 5) シラバス・カリキュラム・コースデザインの検討、改善。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 OHP1台、各教師用机、パソコン1台(IBM ノート型)、テープレコーダー4台(語学講師共用)、教師用コピー機1台、教科書は外部に製本受注。 LL教室:30ブース、TV、ビデオ(マルチ)、VCD					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 男性、40代前半、専任日本語講師、経験約11年 学生(18~21歳、高卒、高校時日本語学習歴若干有)					
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ インドネシア 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 日本語教授法 理由: 外国語としての日本語教育の専門性が必要 ・ 実務経験 理由:					
概況	気候() 気温()℃位 電気(☐ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☐ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)					

要請番号(JL 034 - 06 - 0 - 01)		○ JV⇄SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
モルディブ	職種 日本語教師 (コード 691)	○ 新規 ● 交替 11 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[英 語]) Japanese language instructor			JOCV SV/短期等
大分類: 社会福祉		分野: 人的資源開発		
中・小分類: 社会福祉		課題: 職業訓練		
プログラム名: 職業訓練コースの質向上				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 (現地公用語) Ministry of Higher Education			
	2) 配属先名 (日本語) モルディブ高等教育短期大学 (現地公用語) Faculty of Hospitality and Tourism Studies, Maldives College of Higher Education			
	3) 配属先所在地 首都(マレ)から -- 方向 -- Km 北マレ環礁 マレ島ソーサンマグ 主要都市(--)までの交通手段及び所要時間(-- で約 - 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同短期大学は観光業従事者の育成を目的に、UNDPやWTO等の支援プロジェクトにより1987年にホテルスクールとして設立された。現在は短期大学の一学部として組織・運営されており、2学年5クラス、約90名の学生が在籍しており、一般社会人向けのコースも開講している。モルディブ国内唯一の高等教育機関であり、配属先は唯一の公的日本語教育機関である。年間予算は33万4千USD(2005年)			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モルディブへは年間約48万人の観光客が訪れ、その内約一割を日本人が占めている。日本人観光客へのサービスを充実させるためには、日本語教育が有効な手段となっている。同大学へのJOCV派遣は18年間続いているが、日本語の浸透の割に学生の継続率は低い。また依然として隊員への業務依存度が高い。歴代隊員が養成してきたモルディブ人カウンターパート教師に継続した教授経験を積ませ、独自に授業を運営して行ける体制に移行する事が大きな課題となっている。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・モルディブ人教師に対し日本語教授法の指導を行う。 ・学部日本語コースをモルディブ人教師に担当させ、各コースの責任者として評価等の業務も経験させる。 ・モルディブ人教師の日本語力向上を図る。 ・コースシラバス等の書類作成を行う。 ・社会人日本語コースの運営(1コマ2時間、週2回、5ヵ月)の授業を行う。 (初級～中級の学生が対象。能力に応じてカウンターパート教師による指導に移行して行けるよう計画。) ・日本語能力試験対策コースの授業を行う。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、コンピュータ、カセットプレイヤー、OHP、ビデオ等			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ①27歳男性(常勤) 日本語能力検定2級・国際交流基金研修プログラム参加 ②31歳男性(非常勤) 日本語能力検定3級 ③38歳男性(非常勤) 日本語能力検定3級・国際交流基金研修プログラム参加 ・指導対象は学生17歳～25歳、社会人16歳～45歳。			
6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ ディヴィヒ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 配属先主管官庁の受入条件 ・ 日本語教授法 理由: 配属先の受入条件 ・ 実務経験 2 年 理由:			
概況	気候(熱帯モンスーン気候) 気温(27-32 ℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし) 電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)			

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ 日 S)
短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ☒ X

記入日: 平成17年10月11日

要請番号 (JL 046 - 05 - 1 - 13)		☐ JV⇄SV振替可		調査者名: バルセ 由美	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
フィリピン	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月	JOCV	
	SV/短期等				
	指導科目 (現地公用語[英 語]) Japanese language instructor			1 18年度 2 次隊 2 18年度 3 次隊 3 19年度 1 次隊	年 月 から
大分類:		分野:		プログラム名:	
中・小分類:		課題:			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 貿易産業省 (現地公用語) Department of Trade and Industry				
	2) 配属先名 (日本語) 投資委員会 (現地公用語) Board of Investment				
	3) 配属先所在地 首都 (マニラ) から 方向 0 Km マニラ 主要都市 (マニラ) までの交通手段及び所要時間 (で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 貿易産業省投資委員会は、貿易産業省の附属機関であり、主に海外からの投資促進を支援するため設立された公的機関である。同配属先にあるジャパンデスクは、比国の投資環境整備の一環として、「社会人を対象とした日本語教育プロジェクト」を立上げ、日本語のできる人材の育成に力を入れている。同プロジェクト予算: US\$1,700,000(約20万円)				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) <理由> 本要請は2002年に始まった日比経済連携協定(EPA)交渉等にも関連し、フィリピン産業界の日本語の出来る人材を求めるニーズを背景に、投資委員会のイニシアティブのもと立ち上げられたプロジェクトである。しかしながら、同委員会は日本語教育に関するノウハウが乏しいため、同分野に長けた人材が求められたものである。本日本語コースは2005年2月より開始されたが、今後同コースを定着させていくためには継続したJOCV派遣が必要。				
	2) 期待される具体的業務内容 <前任者活動> 日本語コース開設準備及び、運営協力(関係者によるミーティング、ニーズ調査、説明会の実施、生徒募集、クラス編成、カリキュラム調整)。また、業務提携先である日本語センター財団にて、カウンターパートと共に基礎日本語教育を目的として、実際の授業を担当している。4クラス(入門～初級) 週15時間、各クラス10～20名程度。使用テキストは『みんなの日本語』他オリジナル副教材。その他、日本の商習慣や文化理解を促進するアクティビティ(交流会、ゲストスピーカー招待等)の企画、実施、及び、ニーズに即した副教材の作成。新人フィリピン人教師を対象とした勉強会発足。<期待される業務> ①プログラムデザイン、及びカリキュラム、シラバス改善②フィリピン人教師とのチームティーチングによる実際の授業を担当③日本の商習慣や文化理解を促進するアクティビティの企画、実施④ニーズに即した教材の選定支援、副教材の改善、開発⑤フィリピン人教師養成、及びカウンターパートの日本語教授能力向上の支援				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務用机、教室、ホワイトボード、コンピュータ、文房具一式				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル <日本語センター>カウンターパート2名/非常勤日本語教師、男性20代、日本語教授歴5年、日本語能力試験2級・校長補佐兼非常勤日本語教師、女性、30代、日本語教授歴2ヶ月、日本語能力試験3級 他、日本語教師14名が同センターに配属 <投資委員会>投資促進責任者、女性、30代・課長、女性、40歳代		6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 日本語教授法 理由: 業務遂行上必須なため ・ 実務経験 理由: 教師養成、日本語教授能力向上支援のため				
概 地 況 況	気候(熱帯性気候) 気温(26-34 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)				

要請番号 (JL 046 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
フィリピン	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	指導科目		派遣希望時期
	(現地公用語[英 語]) Japanese Language Instruction		JOCV 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 SV/短期等 年 月 から
大分類: 人的資源		分野:	
中・小分類: 教育		課題:	
プログラム名:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育委員会 (現地公用語) Commission on Higher Education(CHED)		
	2) 配属先名 (日本語) マニラ大学 (現地公用語) The University of Manila		
	3) 配属先所在地 首都(マニラ)から 方向 Km マニラ市 主要都市(マニラ)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1931年に設立された、フィリピンで古い大学の一つ。全学生数は約6千人。日本語学科は、2003年4月に高等教育委員会から正式認可を得、現在日本語専攻の生徒は1期生15名、2期生6名、3期生34名。選択教科で日本語を選択している生徒は280名。契約ベースの教師を含めると7人の講師で運営されている。2006年予算はUS\$18,200(100万ペソ)		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) フィリピンにおける大学での正式な日本語学科の設立は、同校で2校目と大変少なく、同学科は、比国の中でもパイオニア的役割が強いため、是非とも成功に導きたいとの強い思いがある。昨年まで日本に留学していた講師も含めて7名の講師を抱えるものの、上級日本語を教えらる人材が不足していることから、今後、同学科の学生が上級クラスに進む前に、講師陣に対する教授法等を鍛える必要性が生じたことから、協力隊に対する要請があがった。		
	2) 期待される具体的業務内容 2003年4月にスタートしたばかりの日本語学科において、主に下記の点で協力が求められている。 (1)4年制の同コース、および、選択制の日本語クラスにおける、カリキュラムの開発を行うこと。(2)効果的な教材の選択や推奨を行うこと。(3)効果的な教育を施すための、講師陣に対する教授法のトレーニングを施すこと。(4)講師陣に対する、モニタリング、評価を通じ、技術レベルの向上に寄与すること。これ以外に、文化交流使節としての積極的な役割を担うことを期待されている(日本文化の紹介等)。日本語専攻授業数:1期生28.5時間/週、2期生17時間/週、3期生19時間/週。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語クラス専用教室・ホワイトボード、コンピュータ、コピー、文具類		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師は7名、内4名は有給講師、他3名はボランティア講師(日本人) 講師陣レベル:初級～中級。 2005年11月まで、国際交流基金から客員講師(日本文化・歴史担当)短期派遣があった。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 英 語 (レベル: B) ☐ タガログ 語 (レベル: C) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験 理由: 要請の内容上、実務経験は必須		
概況	気候(熱帯性気候) 気温(26-34 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 052 - 06- 0 - 06)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
スリランカ	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 11 代目	派遣希望時期
	指導科目		☐ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[英 語]) Japanese language instructor		1 18年度3 次隊 2 19年度1 次隊 3 年度 次隊
大分類: 人的資源		分野: その他	
中・小分類: 教育		課題: 日本・スリランカ友好親善	
プログラム名: スポーツ・文化振興			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会福祉省 (現地公用語) Ministry of Social Service and Social Welfare		
	2) 配属先名 (日本語) 日本語教育協会(NGO) (現地公用語) Japanese Language Education Association of Sri Lanak		
	3) 配属先所在地 首都(コロンボ)から 方向 Km コロンボ市内 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) スリランカ日本語教育協会(NGO)は大学生や一般社会人を対象に日本語の普及を目的とした語学講座を20年以上運営し、日本語能力試験やスピーチ大会を開催している。現地人講師のレベルも同国内では比較的高く、同国における日本語教育の中核的存在となっている。講座運営に係る年間予算は約500万円。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同講座は現在、5名の現地人講師及び2名の日本人教師(非常勤1名、隊員1名)が、学習目的も社会的背景も異なる学習者(高校、大学生及び一般社会人約350名・13クラス)を対象に、日本語教育を行っている。現地人講師の中には、新人講師もあり、隊員による育成が必要である。また、他の講師のスキルも一定レベルに達してはいるものの、中・上級クラスの指導には十分とは言えず、今後も継続的な支援が必要であることから今回の要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 講座の常勤講師として、現地人講師と協力しながら以下の業務に携わる。 ・中級レベルに対するクラス授業 ・現地人講師の養成、授業見学を通してのアドバイス。 ・初級～中級クラスに必要な教材や定期テストの作成。 ・日本語能力試験(年1回開催)に係る準備、各種取りまとめ。 ・スピーチコンテスト(年1回開催)の審査や開催に係る準備、各種取りまとめ。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 カセットデッキ(1台)、CDラジカセ(3台)、テレビ(2台)、VHSビデオデッキ(マルチ方式)、Windowsコンピューター(2台)、白黒プリンター(1台)、使用教科書は「みんなの日本語1、2」、「中級から学ぶ日本語」。各種視聴覚教材多数。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地人日本語講師9名、日本人教師1名(非常勤)、20～40歳代、事務職員1名 指導対象者レベル: 日本語能力試験2級以上		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ シンハラ 語(レベル:) ☐ 英 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・日本語教授法 理由: 同僚講師も全て直説法で指導している。 ・実務経験3年程度 理由: 経験豊富な同僚との業務及び新人講師指導の為		
概 況 域	気候(熱帯モンスーン) 気温(28-32 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

記入日: 平成17年7月28日

調査者名: 渡辺 英晴

要請番号 (JL 058 - 05 - 1 - 13)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ベトナム	職種 日本語教師 (コード 691)	☒ 新規 ☐ 交替 1 代目	派遣希望時期
	指導科目		☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[ベトナム 語]) GIAO VIEN TIENG NHAT		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 人的資源		分野: 成長促進を支える人材	
中・小分類: 教育		課題: 人材育成機会の強化	
プログラム名: 高等教育支援プログラム			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 (現地公用語) BO GIAO DUC VA DAO TAO		
	2) 配属先名 (日本語) バンヒエン大学 (現地公用語) DAI HOC VAN HIEN		
	3) 配属先所在地 首都(ハノイ市)から 南西 方向 1740 Km ホーチミン市 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は1999年に設立。国文学部、経済学部、心理学部、観光学部、情報技術学部など9学部を有し、総学生数は約4000人である。隊員が配属される外国語学部は4つの学科に分かれており(英語、フランス語、中国語、日本語)学生数は709人、そのうち165人が日本語を学んでいる。年間予算は約1,000,000USD(2004年実績)		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本語学科は副学科長以下、アシスタント1名、ベトナム人教師8名、日本人教師4名体制でコースを運営している。卒業後に通訳・翻訳者となることを目指し、授業を進めているが内容はまだ不十分であり、4年次で日本語検定2級保持者が2-3人というレベルである。授業はベトナム人教師が初心者を中心に一人週50コマ(1コマ45分)、日本人教師が上級者を中心に週27コマを受け持っているが、学校側は通常の授業だけでなく、学生が日本文化に直接触れ合う機会を増やし、生きた日本語を学ぶ事によって学習への動機付け・質の向上を図りたいと考えている。そのため、課外活動としての日本語クラブ運営、カリキュラム改善へのアドバイスをできる人材を求めており、隊員要請となった。		
	2) 期待される具体的業務内容 1. 日本語学科の学生を対象として週約10コマの授業を担当する。使用テキストは(1年次)みんなの日本語1. 2. (2年次)中級から学ぶ日本語、(3年次)上級で学ぶ日本語、(4年次)日本の歴史・文化・地理、ビジネス文書基本パターンなど 2. ベトナム人教師と協力して週に1-2回の日本語クラブ(課外活動)を運営。日本語クラブはテーマを決めて伝統文化・現代文化について学ぶ上級者クラス、華道・茶道などの文化紹介を中心とした初級者クラスなどが考えられるが、日本文化を正しくかつ楽しく学びながら学習が進められるよう工夫する。 3. イベント参加による動機付け(ホーチミン市日本語スピーチコンテストへの参加希望者への指導など) 4. 可能であれば、改訂中のカリキュラムやシラバスに対するアイディアを出し、授業内容の改善に協力する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 カセットプレーヤー		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ: 日本語学科学部長(男性50歳代)、学科アシスタント(女性20歳代) ベトナム人教師(男性3名女性5名20~30歳代中心)、日本人教師(男性2名、女性2名、30~40歳代)、教師は全員非専属 学生数: 約200人、18歳~22歳の大学生、学習レベルは初級~中級		
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ☒ ベトナム 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学の教壇に立つ上で必要 ・ 日本語教授法 理由: 活動遂行上必要		
概 況	気候(亜熱帯) 気温(20~38 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 146 - 06 - 0 - 17)		☐ JV⇔SV振替可		調査者名: シリア事務所	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
シリア	職種 日本語教師 (コード 691)	○新規 ●交替 5代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV	
	指導科目			SV/短期等	
	(現地公用語[アラビア 語]) Japanese language instructor			1 18年度3次隊 2 年度次隊 3 年度次隊 年 月 から	
大分類: 人的資源		分野: 経済・社会システムの近代化		プログラム名: 観光産業近代化	
中・小分類: 教育		課題: 産業の近代化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ダマスカス大学 (現地公用語) Ministry of Higher Education, Damascus university				
	2) 配属先名 (日本語) 日本研究センター (現地公用語) Japanese Studies Centre, University of Damascus				
	3) 配属先所在地 首都()から 方向 Km ダマスカス市内 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本研究センターはシリア第一の国立大学であるダマスカス大学の語学センターに所属している機関で、シリア・日本両国間の相互理解及び学術研究の発展に資することを目的として、1999年に設立された。同センターでは、日本語コース運営、日本文化紹介のほか、派遣中の他機関の日本語教師と共同でスピーチコンテストの企画、実施を行っている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国における日本語教育の中心である本センターは99年2月に設立されてから協力隊員が継続派遣され、学生に対する日本語教育及び日本文化紹介を行うとともに、現地人教員育成を行っている。今後も、配属先と協力して隊員2名体制で、日本語クラスを継続運営しながら、現地人教育を育成するには継続した派遣が必要である。				
	2) 期待される具体的業務内容 シリア人アシスタントと派遣中の協力隊員と協力して以下の内容が主な活動になる。 ・日本研究センターでの授業の運営及び担当(レベル1-9(2006年1月現在)) ・日本語スピーチコンテストの企画・運営 ・日本文化紹介の企画・運営 ・シリア人アシスタント育成				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 使用教材としてみんなの日本語(教材・CD)。日本語教育関連の書籍、辞書。TV、ビデオデッキ、CDカセットテープレコーダー、DVDレコーダー等。				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ダマスカス大学言語センター長(男性) ・日本語センター長(男性、英語センター長を兼務) ・日本語センターアシスタント3人(2~30歳代の男女) ・協力隊員(2名体制)				
資格条件	6) 業務で使用する言語 ● アラビア語 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験2年程度 理由: クラス運営など配属先との調整のため ・日本語教授法 理由: 活動遂行上必要				
概地域	気候(大陸性乾燥気候) 気温(0~40 ℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)				

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ BS)
短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ☒

記入日: 平成17年12月28日

調査者名: シリア事務所

要請番号 (JL 146 - 06 - 0 - 18)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
シリア	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[アラビア 語]) Japanese language instructor		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 経済・社会システムの近代化	
中・小分類: 教育		課題: 産業の近代化	
プログラム名: 観光産業近代化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ダマスカス大学 (現地公用語) Ministry of Higher Education, Damascus university		
	2) 配属先名 (日本語) 日本研究センター (現地公用語) Japanese Studies Centre, University of Damascus		
	3) 配属先所在地 首都 () から 方向 Km ダマスカス市内 主要都市 () までの交通手段及び所要時間 () で約 時間		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) 日本研究センターはシリア第一の国立大学であるダマスカス大学の語学センターに所属している機関で、シリア・日本両国間の相互理解及び学術研究の発展に資することを目的として、1999年に設立された。同センターでは、日本語コース運営、日本文化紹介のほか、派遣中の他機関の日本語教師と共同でスピーチコンテストの企画、実施を行っている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国における日本語教育の中心である本センターは99年2月に設立されてから協力隊員が継続派遣され、学生に対する日本語教育及び日本文化紹介を行うとともに、現地人教員育成を行っている。今後も、配属先と協力して隊員2名体制で、日本語クラスを継続運営しながら、現地人教育を育成するには継続した派遣が必要である。		
	2) 期待される具体的業務内容 シリア人アシスタントと派遣中の協力隊員と協力して以下の内容が主な活動になる。 ・日本研究センターでの授業の運営及び担当 (レベル1-9 (2006年1月現在)) ・日本語スピーチコンテストの企画・運営 ・日本文化紹介の企画・運営 ・シリア人アシスタント育成		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 使用教材としてみんなの日本語 (教材・CD)。日本語教育関連の書籍、辞書。TV、ビデオデッキ、CDカセットテープレコーダー、DVDレコーダー等。		
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル ・ダマスカス大学言語センター長 (男性) ・日本語センター長 (男性、英語センター長を兼務) ・日本語センターアシスタント3人 (2~30歳代の男女) ・協力隊員 (2名体制)		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ アラビア語 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・実務経験2年程度 理由: クラス運営など配属先との調整のため ・日本語教授法 理由: 活動遂行上必要		
概地域	気候 (大陸性乾燥気候) 気温 (0~40 ℃位) 電気 (☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話 (☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道 (☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ HS)
短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ☒ X

記入日: 平成18年1月3日

調査者名: 佐藤 恵美

要請番号(JL 261 - 06- 0 - 07)		☐ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
セネガル	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 4 代目	派遣希望期間
	指導科目		☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[仏 語]) Enseignement de la Langue Japonaise		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 人的資源		分野:	
中・小分類: 教育		課題:	
プログラム名:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 経済・大蔵省 (現地公用語) Ministère de l'Economie et des Finances		
	2) 配属先名 (日本語) アフリカ高等経営センター (現地公用語) Centre Africain d'Etudes Supérieur en Gestion		
	3) 配属先所在地 首都(ダカール)から 方向 0 Km ダカール州ダカール市 主要都市(ダカール中心部)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.9時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 西アフリカ・セーファー通貨圏の国々の開発に貢献する人材を育成する目的で、1960年代に創立した高等専門学校。経営学を中心に、保健管理学、情報処理、言語などを習得する。西アフリカ中央銀行(BCEAO)が資金源であるが、現在は独立採算となっている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アフリカ高等経営センター(以下、CESAG)全体の事業計画の中で、今後5年間(2006-2010)で同センターを仏語と英語のバイリンガル校にしていこうという計画があり、それに伴い、言語科の存在価値がCESAG内で高まってきている。今年度より日本語クラス学習者数が増加していることから、言語科をより発展させるための一つの方策として隊員への期待が高まっている。下記に記述する活動に加え、①日本大使館主催のラジオ番組で15分間の日本語講座の実施、②300時間既習の日本語学習者対象の「実用日本語講座」、③国際交流基金主催「日本語学習者訪日研修・各国成績優秀者」の募集とテスト、⑤2006年12月1日開催予定の第1回「日本語コンクール」へのエントリーなども実施している。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①CESAGの研修生に対する日本語クラスの実施。(初級レベル。実施時間は週に6~8時間ほど) ②社会人クラス(有料)での授業実施。(レベルは初級。初級レベルは現在2つのレベルで分けている。よって実施時間は週に12時間) ③上記2点の日本語教育のコース運営計画、シラバス作成、学習者募集、クラス管理、教材・教具の管理、教材の作成とその準備、成績処理やコース終了証明書の発行など 日頃から常に言語科上司や同僚(教授や秘書)との細やかな打ち合わせが必要とされる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語科専用としてビデオデッキ(VHS、PAL)、テレビ、ダブルカセットデッキ、パソコン、ワープロがある。使用教材は、初級:「みんなの日本語1」、「漢字練習帳1・2」、「日本語の教え方スーパーキット」、中級:「みんなの日本語2」、「日本語で話そう4」、共通:「ヤンさんと日本人々」、「写真パネルバンク」等		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 責任者 1名 イギリス在住経験あり(50歳代) 秘書1名 専任英語教師2名 専任フランス語教師1名		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ フランス 語(レベル:) ☐ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: ・ 日本語教授法 理由: ・ 実務経験 理由: 4代目派遣として業務内容が多岐にわたるため		
概況	気候(ステップ) 気温(15-35 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 322 - 06 - 0 - 05)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望期間
コスタリカ	職 種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 3 代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[西 語]) Idioma Japones		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 市民生活の質の向上	
中・小分類: 教育		課題: 文化的に多様な社会への実現	
プログラム名: 生涯教育の機会提供			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) コスタリカ大学 (現地公用語) UNI COSTA RICA, SAN RAMON		
	2) 配属先名 (日本語) サンラモン校 (現地公用語) UNI COSTA RICA, SAN RAMON		
	3) 配属先所在地 首都(サンホセ)から 北西 方向 60 Km アラフエラ県サンラモン 主要都市(サンホセ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1,5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) コスタリカで最も規模の大きい国立総合大学で教育学・芸術文学・社会科学など様々な学科を展開し、国民に多くの学習の場を提供している。コスタリカ大学の年間予算は77,551,020ドル(2005年)。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、活動中の協力隊員はコスタリカ大学サンラモン校の日本語 I (17名)、日本語 II (3名)を担当し授業を行なっている。 また、日本語の授業とあわせて、日本文化・習慣・国民性などを教え、広い分野で日本に触れる環境を提供している。今後 も日本語を学びつつ多くの日本文化に接する機会を作る為、本件が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 ー日本語 I 講義 2005年前期クラス 日本語 I 履修者17名、週2回、6時間/週 ー日本語 II 講義 2005年前期クラス 日本語 II 履修者3名、週2回、6時間/週 ー日本文化紹介		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務用品、教室、黒板、ラジカセ、プロジェクター他		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性/40歳代/心理学担当教授 女性/30歳代/言語学科担当教授		
6) 業務で使用する言語 ☒ スペイン 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (日本語教授法) 理由: 指導上必須 ・ 実務経験 1 ~ 2 年 理由: 授業を担当する為に必須		
概 況	気候(熱帯高原) 気温(25 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号 (JL 322 - 06 - 0 - 06)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
コスタリカ	職種 日本語教師 (コード 691)	○ 新規 ● 交替 8 代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[西 語]) Idioma Japonés		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 市民生活の質の向上	
中・小分類: 教育		課題: 文化的に多様な社会への実現	
プログラム名: 生涯教育の機会提供			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ナショナル大学 (現地公用語) Universidad Nacional		
	2) 配属先名 (日本語) 言語語学部 (現地公用語) Escuela de Literatura y Ciencias del Lenguaje		
	3) 配属先所在地 首都(サンホセ)から 北 方向 12 Km エレディア県エレディア 主要都市(サンホセ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナショナル大学言語学部では英語、仏語、日本語が常時開講され、その他として伊語、葡語も開講され、言語に関わる事象の研究や教育が行なわれている。日本語は第二外国語として位置づけられ、2学期制各学期18週で運営されている。年間予算は約4千ドル。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、活動中の協力隊員は、日本語レベル1、2、3、4を担当し、各1時間40分の授業を行なっている。生徒数はレベル1=27名、レベル2=7名、レベル3=5名、レベル4=6名である。また日本語の授業を通して、学生達に日本文化・習慣の紹介や日本に触れるチャンスを提供し日本への理解を深め、異文化・言語習得を学ぶことで学生達の見聞を広げることを目的としている。		
	2) 期待される具体的業務内容 - 第二外国語としての日本語教育の担当(レベル1、2、3、4) - 日本文化紹介 - 同僚への日本語教育指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LL教室、ラジカセ、ビデオ、コンピューター、文房具		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ナショナル大学学部長/40歳代 同僚/男性/30歳代/専門英語		6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (日本語教授法) 理由: 大学のコースを指導するため必須 ・ 実務経験 1～2年 理由: 活動上必須		
概 地 域	気候(熱帯性高原) 気温(25 ℃位)	電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)	水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)
	電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし)		

要請番号(JL 340 - 06 - 0 - 02)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
グアテマラ	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 代目	☒ 2年 ☐ 1年 ☐ ヶ月
	指導科目		派遣希望時期
	(現地公用語[西 語]) IDIOMA JAPONES		JOCV 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 年度次隊 SV/短期等 年 月 から
大分類: 人的資源		分野: 民主化定着	
中・小分類: 教育		課題: 市民の安全保障	
プログラム名: 青少年の犯罪・非行防止			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国立サンカルロス大学 (現地公用語) UNIVERCIDAD DE SAN CARLOS DE GUATEMALA		
	2) 配属先名 (日本語) 言語センター (現地公用語) CENTRO DE APRENDIZAJE DE LENGUAS(ESCUELA DE CIENCIAS LINGUISTICAS)		
	3) 配属先所在地 首都(グアテマラ市)から 方向 Km グアテマラ市 主要都市()までの交通手段及び所要時間(で約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立サンカルロス大学内にある言語センターは、広く一般市民にも開放されており、15歳以上であれば誰でも登録できる。ここでは、日本語の他、英・仏・独・中国語や先住民言語など、約20言語のクラスが開設されている。同センターの日本語コースは、国内唯一の公的日本語教育機関である。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターには、1992年に初代の日本語教師隊員が派遣され、これまで常時1から2名の日本語教師隊員が派遣されてきた。現在では、常時数クラスが開設されており、初代隊員の生徒のひとりであった同僚の現地人教師1名と隊員とで分担し、授業をしている。隊員以外に日本人教師はおらず、ネイティブの隊員が、学生や同僚教師に対する指導・助言の必要性は引き続き高く、その要望も大きい。		
	2) 期待される具体的業務内容 同僚教師と協力しつつ、主に初級日本語クラスの授業の運営全般の支援活動を実施する。現在は、隊員が主担当の授業が4クラス(1クラスは、2時間×2回/週)、同僚教師が主担当で隊員がサポートする授業が2クラスあるが、これらが引き継がれることが期待されている。主な教材として「みんなの日本語」を使用しているが、学生の習熟度や到達度に応じて、他にも授業に活用する教材や試験問題などをその都度作成する。 学生の興味を引く日本文化や習慣、社会・経済・技術等のテーマを取り入れた授業展開が期待されている。 この他、弁論大会や日本文化紹介等の行事の企画・運営も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ・LL教室(30人用。モニター2台、ビデオデッキ3台、DVD、OHP、ラジカセ、プロジェクター、スクリーン等) 教材として、テキスト等約300冊、ビデオテープ約150本等		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚は、男性1名(30歳代、同センターの学生出身で、平成12年度には9か月間、国際交流基金による本邦研修を受講) 指導対象者のレベルは、主に初級日本語。		
資格条件	6) 業務で使用する言語 ☒ 西 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験2年 理由: 即戦力を期待 ・日本語教授法 理由: 大学の課程修了と同等の実力が必要なため		
概地域	気候(サバナ、標高1500m) 気温(10~30 ℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 352 - 06 - 0 - 06)		● JV⇔SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ジャマイカ	職種 日本語教師 (コード 691)	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	SV/短期等
	指導科目			1 19年度1次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語]) Japanese language instructor			2 年度 次隊	
大分類: 人的資源		分野: 雇用機会の拡充		プログラム名: 日本語教育の拡充	
中・小分類: 教育		課題: 教育の改善			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministry of Education Youth and Culture				
	2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ工科大学 (現地公用語) University of Technology, Jamaica				
	3) 配属先所在地 首都(キングストン)から 北東 方向 5 Km キングストン 主要都市()までの交通手段及び所要時間()で約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 建築環境学部、ビジネス経営学部、教育教養学部、工学部、保健応用科学部の5つの学部から構成される高等教育機関。 (http://www.utech.edu.jm/)				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学では、2001年9月から日本語教師隊員の派遣を開始しているが、2代目の隊員が派遣される前に現地人日本語教師が採用され、現在も同校で日本語及び西語の授業で教鞭を取っている。同大学は、同教師が日本語教師として独り立ちできることを目指しており、隊員に対しては日本語の授業を実際に担当しながら同教師の教授法向上への協力を希望し、今回の要請となった。隊員は、同校の教養学部教養学科人文社会科学部門に属する。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 観光経営学科フードサービスマネージメント専攻の学生への週7時間程度 2. 他学部生対象の選択科目として週6時間程度 3. 日本語を履修する学生を対象としたテスト運営全般(問題作成・実施・評価) 4. 現地人日本語教師への初心者を対象とした教授法指導 5. 日本文化クラブの運営補助				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パーソナルコンピューター、テープレコーダー、プロジェクター、テレビ等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート(20代女性教師、日本語能力検定3級) 指導対象: 大学生(いずれも初級レベル)				
資 格 条 件	6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 大学生を指導対象としているため ・ 指導経験1年程度 理由: 高等教育機関での指導には不可欠 ・ 日本語教授法 理由: 高等教育機関での指導には不可欠				
概 況 地 域	気候(熱帯性気候) 気温(28 ℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし) 電話(☑ インターネット可 □ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)				

平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (☒ JOCV ☐ 日青 ☐ SV ☐ BS)
 短期 (☐ JV_A ☐ JV_B ☐ SV_A ☐ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ☒
--------	---

記入日:

調査者名: 藤巻三洋調整員

要請番号(JL 432 - 06 - 0 - 01)		☐ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
バヌアツ	職種 日本語教師 (コード 691)	☐ 新規 ☒ 交替 2 代目	派遣希望時期
	指導科目		JOCV
	(現地公用語[仏・英・ビ 語]) Enseignement de la Langue Japonaise		SV/短期等
大分類: 人的資源		分野: 基礎教育・人的資源開発	
中・小分類: 教育		課題: 人的資源開発	
プログラム名: 人的資源開発プログラム			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) ルーガンビル高校 (現地公用語) Lycee de Luganville		
	3) 配属先所在地 首都(ポートビラ)から 北西 方向 270 Km サント島 ルーガンビル 主要都市(ルーガンビル)までの交通手段及び所要時間()で約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サント島にあるサンマ州内最大の仏語系中高等学校。国内に6校ある国立仏語系中高等学校のうちの1つ。教師26名、生徒数429名。7年生(中学一年生)から13年生まで全11クラス。年間予算は2700万バツ(約2700万円)、政府予算及び授業料徴収によって運営されている。他国ボランティアが短期で活動することがあるが、継続的な活動はJOCVのみ。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2001年からフランス語系中高等学校で日本語が第二外国語として正式に導入された。全フランス語系高校6校のうち3校で、現在もJOCV日本語教師が活動中である。当校で活動中の初代隊員の後任として2代目の隊員が要請された。他校で活動中のJOCV日本語教師と連携して、カリキュラム・シラバスの作成、統一試験の問題作成、教材開発等にかかわることが期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 高等部の生徒に対して、第二外国語としての日本語の授業を各クラス週2~3時間、合計約15時間程度行う。授業はフランス語で行うが、補助的に英語を使うことも可能であり、語学的な適応力が必要。他校配属の同職種JOCVおよびシニア海外ボランティアと連携を取りながら、日本語の統一カリキュラム・シラバスの作成、統一試験の問題作成、教材開発等を行うことも期待されている。高等部で初めて日本語に接する生徒たちの、やる気を引き出しながら楽しく活動する姿勢が必要。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、FAX等。		
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師26名、大卒か教員養成校卒の教員資格保持者。 対象者は高等部の生徒、日本語は導入されたばかりで生徒のレベルは初級。		6) 業務で使用する言語 ☒ 仏 語 (レベル:) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 日本語教授法 理由: 系統的な日本語教育に関する知識が必要		
概 地 況 域	気候(熱帯海洋性) 気温(15~35℃位) 電気(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☐ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☒ 安定 ☐ 不安定 ☐ なし)		

要請番号(JL 001 - 05- 1 - 07)		☐ JV⇔SV振替可	
国 名	職 種 / 指 導 科 目	区 分 (長期のみ)	派遣希望時期
バングラデ シュ	職種 理数科教師 (コード 692)	☐ 新規 ☒ 交替 4 代目	派遣希望期間
	指導科目		☒ 2 年 ☐ 1 年 ☐ ヶ月
	(現地公用語[ベンガル 語]) Science and Mathematics Teacher		1 18年度2 次隊 2 18年度3 次隊 3 19年度1 次隊
大分類: 人的資源		分野: 初等教育	
中・小分類: 文化		課題: 教育内容の向上(初等教員の再訓)	
プログラム名: 教育内容向上プログラム			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 初等大衆教育省初等教育局 (現地公用語) Ministry of Primary and Mass Education		
	2) 配属先名 (日本語) 初等教員訓練機関 (現地公用語) Primary Training Institute, Shylhet		
	3) 配属先所在地 首都(ダッカ)から 北西 方向 250 Km シレット県シレット市 主要都市(シレット)までの交通手段及び所要時間(列車 で約 8 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同機関は全国64県中53県に配置され、小学校教員採用者に対するトレーニングを行っている。トレーニングは便宜上、公立小学校採用教員コース(1月開講)と政府登録小学校教員コース(7月開講)に分かれ、生徒数は合計200名。また、敷地内にはモデル小学校が併設されており児童数約150名。各種援助機関が多数のプロジェクトを実施。初等教育局でJICA専門家1名が活動中のほか、マイメシ県では、技プロ「小学校理数科教育強化計画プロジェクト」が開始されている。		
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 「全国民のための教育」を合言葉に初等教育分野では、就学率の向上を実現し、小学校数、教員数も飛躍的に伸びてきた。一方、ドロップアウト率の高さ、暗記中心の学習による応用力の低さ、一方的教育手法、小学校教師の経験不足など、質の向上を妨げる問題も多く存在する。教師が実地で生かすことのできる知識・応用力が身に付く授業・実験の提案と運営が隊員に求められている。理科の授業は週4コマ。現在は初等教育カリキュラムの内容に基づく、ローコスト教材開発学習を実施し、教育現場の普及に活動の中心を置いている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・同僚インストラクター(副校長)とともに理科授業を担当し、主に実験指導を行う。当国の小学校理科は社会・保健・家庭科・地理など併せ持った「環境教育」としての要素が強い。身近な環境に親しみ、ローコストかつ現地で調達可能な素材を利用した教材を効果的に用いることが望まれる。 ・柔軟な発想と幅広い知識が必要である。また、当国の教師用指導要項などはすべてベンガル語で作成されており、語学学習への熱意が欠かせない。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科実験に必要な基本的資機材		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・理科および農業担当インストラクター(各1名)、修士卒、経験10年～15年 ・小学校教師採用内定者および小学校教師、高卒～修士卒程度、年齢は20～50歳		
		6) 業務で使用する言語 ☒ ベンガル 語 (レベル: B) ☐ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(理系) 理由: 同僚と同等の学歴が必要である。 ・教員免許(理科) 理由: 教員を対象に理数科分野の指導を行うため。		
概 況 域	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10-40℃位) 電気(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 ☐ 不良 ☐ なし) 水道(☐ 安定 ☒ 不安定 ☐ なし)		